（様式第10）

三大医病総第 230　　号

令和　　5 年　　10 月　　5 日

厚生労働大臣　　殿

開設者名　国立大学法人三重大学
学長　伊藤　正明

三重大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第2項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1　開設者の住所及び氏名

住所	〒514-8507　三重県津市栗真町屋町1577
氏名	国立大学法人三重大学

（注）　開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2　名称

三重大学医学部附属病院

3　所在の場所

〒514-8507　三重県津市江戸橋2丁目174番地
電話（059）232－1111

4　診療科名

4－1　標榜する診療科名の区分

○	1	医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
	2	医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

（注）　上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2　標榜している診療科名

（1）内科

内科						有	
内科と組み合わせた診療科名等							
○	1呼吸器内科		2消化器内科	○	3循環器内科	○	4腎臓内科
	5神経内科	○	6血液内科		7内分泌内科		8代謝内科
	9感染症内科		10アレルギー疾患内科またはアレルギー科				11リウマチ科
診療実績							
消化器内科：消化器・肝臓内科にて医療を提供している。 神経内科：脳神経内科にて医療を提供している。 内分泌内科、代謝内科：糖尿病・内分泌内科にて医療を提供している。 リウマチ科：リウマチ・膠原病内科にて医療を提供している。							

（注）　1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

（2）外科

外科							有
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

（注）　1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

（3）その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

（注）　標榜している診療科名に○印を付けること。

（4）歯科

歯科						有
歯科と組み合わせた診療科名						
	1小児歯科		2矯正歯科	○	3歯科口腔外科	
歯科の診療体制						

（注）　1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

（5）（1）～（4）以外でその他に標榜している診療科名

1	脳神経内科	2	消化器・肝臓内科	3	腫瘍内科	4	糖尿病・内分泌内科	5	緩和ケア科
6	病理診断科	7	移植外科	8	形成外科	9	リウマチ・膠原病内科	10	リハビリテーション科
11	漢方医学	12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

（注）　標榜している診療科名について記入すること。

5　病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
30	0	0	0	655	685

（単位：床）

6　医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	291	222	488.3
歯科医師	7	10	16.1
薬剤師	63	3	64.8
保健師	0	1	1
助産師	41	5	44.6
看護師	600	138	697.3
准看護師	0	2	1.5
歯科衛生士	3	1	4
管理栄養士	6	11	16.9

職種	員数
看護補助者	48
理学療法士	14
作業療法士	5
視能訓練士	8
義肢装具士	0
臨床工学士	29
栄養士	0
歯科技工士	2
診療放射線技師	51

職種		員数
診療エックス線技師		0
臨床検査	臨床検査技師	73
	衛生検査技師	0
	その他	0
あん摩マッサージ指圧師		0
医療社会事業従事者		13
その他の技術員		54
事務職員		255
その他の職員		35

（注）　1　報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
2　栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
3　「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7　専門の医師数

専門医名	人数（人）	専門医名	人数（人）
総合内科専門医	59	眼科専門医	12
外科専門医	46	耳鼻咽喉科専門医	9
精神科専門医	8	放射線科専門医	30
小児科専門医	19	脳神経外科専門医	14
皮膚科専門医	8	整形外科専門医	18
泌尿器科専門医	9	麻酔科専門医	9
産婦人科専門医	19	救急科専門医	14
		合計	274

（注）　1　報告書を提出する年度の10月１日現在の員数を記入すること。
2　人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8　管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名　（ 池田　智明 ）　任命年月日　令和　4　年　4　月　1 日

医療安全管理委員会委員、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会委員長として、業務を経験。

9　前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	473.2　人	5.9　人	479.1　人
1日当たり平均外来患者数	1385.9　人	74.6　人	1460.5　人
1日当たり平均調剤数	入院679.6、外来43.2　計722.8　剤		
必要医師数	128.4　人		
必要歯科医師数	5.0　人		
必要薬剤師数	16.0　人		
必要（准）看護師数	289.0　人		

（注）　1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2　入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3　外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4　調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5　必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要（准）看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10　施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	285.6 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	病床数 人工呼吸装置 その他の救急蘇生装置	13 床 有 有	心電計 心細動除去装置 ペースメーカー	有 有 有
無菌病室等	［固定式の場合］	床面積	374 ㎡	病床数	31	床
	［移動式の場合］	台数	台			
医薬品情報管理室	［専用室の場合］	床面積	53 ㎡			
	［共用室の場合］	共用する室名				
化学検査室	423 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	遠心機、自動分析装置		
細菌検査室	147 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	顕微鏡、遠心機、安全ｷｬﾋﾞﾈｯﾄ		
病理検査室	236 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	顕微鏡、染色装置		
病理解剖室	32 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	電動昇降式解剖台		
研究室	758 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	（主な設備）	遺伝子解析装置、液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ、自動洗浄機		
講義室	1617 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	室数　19　室	収容定員	1,193	人
図書室	759 ㎡	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ	室数　2　室	蔵書数	55,180	冊程度

（注）　1　主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2　主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11　紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	89.9 %	逆紹介率	81.1 %

算出根拠			
	A:紹介患者の数	13349	人
	B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12857	人
	C:救急用自動車によって搬入された患者の数	900	人
	D:初診の患者の数	15837	人

（注）　1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長（○を付す）	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
大野　敏幸	津市役所 内部統制担当理事		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2
片山　眞洋	片山総合法律事務所 弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	無	1
小池　敦	三重県立看護大学看護学部　教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	無	2
鈴木　明	浜松医科大学医学部附属病院医療安全管理室特任准教授	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	無	1

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13　監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 本学ホームページへ掲載。	

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

1　承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先　進　医　療　の　種　類	取扱患者数（人）
末梢血単核球移植による血管再生治療	0
子宮内膜受容能検査1	13
子宮内細菌叢検査1	11
子宮内細菌叢検査2	27
子宮内膜受容能検査2	3
先進医療の種類の合計数	5
取扱い患者数の合計（人）	54

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類（注1）及び取扱患者数

先 進 医 療 の 種 類	取扱患者数（人）
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法	0
腹腔鏡下センチネルリンパ節生検　早期胃がん	0
先進医療の種類の合計数	2
取扱い患者数の合計（人）	0

（注）1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準（平成二十年厚生労働省告示第百二十九号）第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

（注）2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	経皮的大動脈弁置換術：生体弁機能不全に対するTAVI	取扱患者数	60
当該医療技術の概要 経皮的大動脈弁置換術：生体弁機能不全に対するTAVI			
医療技術名	内視鏡手術用支援機器を用いた肝切除	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 内視鏡手術用支援機器を用いた肝切除			
医療技術名	離断型胆汁瘻に対する無水エタノールとリピオドールを用いた経皮経肝的門脈塞栓術、経皮経肝的門脈胆管焼灼術	取扱患者数	104
当該医療技術の概要 離断型胆汁瘻に対する無水エタノールとリピオドールを用いた経皮経肝的門脈塞栓術、経皮経肝的門脈胆管焼灼術			
医療技術名	ロボット支援下肺悪性腫瘍手術　気管支形成を伴う肺切除術	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 ロボット支援下肺悪性腫瘍手術　気管支形成を伴う肺切除術			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

（注）1　当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

（注）2　医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること（当該医療が先進医療の場合についても記入すること）。

その他の高度医療の種類の合計数	4
取扱い患者数の合計（人）	168

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3	56	ベーチェット病	43
2	筋萎縮性側索硬化症	27	57	特発性拡張型心筋症	39
3	脊髄性筋萎縮症	1	58	肥大型心筋症	17
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	9	60	再生不良性貧血	18
6	パーキンソン病	205	61	自己免疫性溶血性貧血	1
7	大脳皮質基底核変性症	3	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	1
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	40
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0	65	原発性免疫不全症候群	3
11	重症筋無力症	58	66	IgA 腎症	32
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	34
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	66	68	黄色靭帯骨化症	8
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	17	69	後縦靭帯骨化症	43
15	封入体筋炎	0	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	36
17	多系統萎縮症	23	72	下垂体性ADH分泌異常症	25
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	61	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	6
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	7
21	ミトコンドリア病	3	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	26	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	25
23	プリオン病	0	78	下垂体前葉機能低下症	65
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	3	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	32	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	55
30	遠位型ミオパチー	0	85	特発性間質性肺炎	12
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	38
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	37
34	神経線維腫症	21	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	18	90	網膜色素変性症	22
36	表皮水疱症	0	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	17	92	特発性門脈圧亢進症	0
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	48
39	中毒性表皮壊死症	2	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	16	95	自己免疫性肝炎	8
41	巨細胞性動脈炎	9	96	クローン病	229
42	結節性多発動脈炎	9	97	潰瘍性大腸炎	351
43	顕微鏡的多発血管炎	17	98	好酸球性消化管疾患	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	2
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	10	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	7	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	2	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	176	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	107	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	113	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	30	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	4
53	シェーグレン症候群	21	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	14	109	非典型溶血性尿毒症症候群	3
55	再発性多発軟骨炎	6	110	ブラウ症候群	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	13
113	筋ジストロフィー	9	163	特発性後天性全身性無汗症	3
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜症	0
116	アトピー性脊髄炎	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	6	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	1	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172	低ホスファターゼ症	0
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	1	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	5	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	2	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名（有馬症候群）	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR－X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスムンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	1
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	1	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	8	208	修正大血管転位症	2
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	2
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	5

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾　患　名	患者数		疾　患　名	患者数
211	左心低形成症候群	2	275	タナトフォリック骨異形成症	0
212	三尖弁閉鎖症	1	276	軟骨無形成症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	278	巨大リンパ管奇形（頚部顔面病変）	0
215	ファロー四徴症	13	279	巨大静脈奇形（頚部口腔咽頭びまん性病変）	0
216	両大血管右室起始症	2	280	巨大動静脈奇形（頚部顔面又は四肢病変）	0
217	エプスタイン病	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
218	アルポート症候群	1	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	283	後天性赤芽球癆	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	285	ファンコニ貧血	0
222	一次性ネフローゼ症候群	36	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	287	エプスタイン症候群	0
224	紫斑病性腎炎	4	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	2
225	先天性腎性尿崩症	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	2
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	2
227	オスラー病	10	291	ヒルシュスプルング病（全結腸型又は小腸型）	0
228	閉塞性細気管支炎	0	292	総排泄腔外反症	0
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	0	293	総排泄腔遺残	1
230	肺胞低換気症候群	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
231	α1－アンチトリプシン欠乏症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
232	カーニー複合	0	296	胆道閉鎖症	6
233	ウォルフラム症候群	0	297	アラジール症候群	1
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	0	298	遺伝性膵炎	0
235	副甲状腺機能低下症	1	299	嚢胞性線維症	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	300	IgG4関連疾患	12
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	301	黄斑ジストロフィー	1
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	303	アッシャー症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
241	高チロシン血症1型	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
242	高チロシン血症2型	0	306	好酸球性副鼻腔炎	53
243	高チロシン血症3型	0	307	カナバン病	0
244	メープルシロップ尿症	0	308	進行性白質脳症	0
245	プロピオン酸血症	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
246	メチルマロン酸血症	0	310	先天異常症候群	0
247	イソ吉草酸血症	0	311	先天性三尖弁狭窄症	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	312	先天性僧帽弁狭窄症	0
249	グルタル酸血症1型	0	313	先天性肺静脈狭窄症	0
250	グルタル酸血症2型	0	314	左肺動脈右肺動脈起始症	0
251	尿素サイクル異常症	0	315	ネイルパテラ症候群（爪膝蓋骨症候群）／LMX1B関連腎症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	316	カルニチン回路異常症	0
253	先天性葉酸吸収不全	0	317	三頭酵素欠損症	0
254	ポルフィリン症	0	318	シトリン欠損症	1
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	319	セピアプテリン還元酵素（SR）欠損症	0
256	筋型糖原病	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール（GPI）欠損症	0
257	肝型糖原病	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
258	ガラクトース－１－リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	322	β―ケトチオラーゼ欠損症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	323	芳香族L－アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
260	シトステロール血症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
261	タンジール病	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
262	原発性高カイロミクロン血症	1	326	大理石骨病	0
263	脳腱黄色腫症	0	327	特発性血栓症（遺伝性血栓性素因によるものに限る。）	0
264	無βリポタンパク血症	0	328	前眼部形成異常	0
265	脂肪萎縮症	0	329	無虹彩症	0
266	家族性地中海熱	1	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名（先天性気管狭窄症）	0

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

267	高IgD症候群	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	10
268	中條・西村症候群	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
271	強直性脊椎炎	8	335	ネフロン癆	0
272	進行性骨化性線維異形成症	0	336	家族性低βリポタンパク血症1（ホモ接合体）	0
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0	337	ホモシスチン尿症	0
274	骨形成不全症	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0

（注）「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	125
合計患者数（人）	2663

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（基本診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・初診料の注1、再診料の注1及び外来診療料の注1の規定による情報通信機器を用いた診療	・患者サポート体制充実加算
・医療情報・システム基盤整理体制充実加算	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・ハイリスク妊娠管理加算
・歯科外来診療環境体制加算2	・ハイリスク分娩管理加算
・歯科診療特別対応連携加算	・呼吸ケアチーム加算
・特定機能病院入院基本料	・術後疼痛管理チーム加算
・入院栄養管理体制加算	・後発医薬品体制加算
・臨床研修病院入院診療加算（医科）	・病棟薬剤業務実施加算1
・臨床研修病院入院診療加算（歯科）	・病棟薬剤業務実施加算2
・救急医療管理加算	・データ提出加算
・超急性期脳卒中加算	・入退院支援加算1
・妊産婦緊急搬送入院加算	・入退院支援加算（地域連携診療計画加算）
・診療録管理体制加算	・入退院支援加算（入院時支援加算）
・医師事務作業補助体制加算1	・入退院支援加算（総合機能評価加算 ）
・急性期看護補助体制加算	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・急性期看護補助体制加算（夜間急性期看護補助体制加算）	・精神疾患診療体制加算1、2
・急性期看護補助体制加算（夜間看護体制加算）	・排尿自立支援加算
・急性期看護補助体制加算（看護補助体制充実加算）	・地域医療体制確保加算
・看護職員夜間配置加算 （12対1配置加算1）	・救命救急入院料4
・超重症児（者）入院診療加算・準超重症児（者）入院診療加算	・救命救急入院料4（算定上限日数に係る施設基準）
・看護補助加算1	・救命救急入院料4（小児加算）
・看護補助加算（看護補助体制充実加算）	・救命救急入院料4（早期離床・リハビリテーション加算）
・療養環境加算	・救命救急入院料4（早期栄養介入管理加算）
・重症者等療養環境特別加算	・特定集中治療室管理料1
・無菌治療室管理加算1	・特定集中治療室管理料1（算定上限日数に係る施設基準）

・無菌治療室管理加算2	・特定集中治療室管理料1（小児加算）
・放射線治療病室管理加算（密封小線源による治療の場合）	・特定集中治療室管理料1（早期離床・リハビリテーション加算）
・緩和ケア診療加算	・ハイケアユニット入院医療管理料2
・精神科身体合併症管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料2（早期離床・リハビリテーション加算）
・依存症入院医療管理加算	・新生児特定集中治療室管理料1
・摂食障害入院医療管理加算	・総合周産期特定集中治療室管理料
・がん診療連携拠点病院加算	・総合周産期特定集中治療室管理料（成育連携支援加算）
・がん拠点加算1イ　がん診療連携拠点病院	・新生児治療回復室入院医療管理料
・がん拠点加算2　小児がん拠点病院	・小児入院医療管理料2
・栄養サポートチーム加算	・小児入院医療管理料2（注2に規定する加算（プレイルーム））
・栄養サポートチーム加算（歯科医師連携加算）	・小児入院医療管理料2（無菌治療管理加算）
・医療安全対策加算1	・小児入院医療管理料2（養育支援体制加算）
・感染対策向上加算1	・入院時食事療養／生活療養（Ｉ）
・感染対策向上加算1（指導強化加算）	・看護職員処遇改善評価料60

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等（特掲診療科）

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））
・口腔細菌定量検査	・網膜再建術
・歯科口腔リハビリテーション2	・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
・手術時歯根面レーザー応用加算	・人工中耳植込術
・広範囲顎骨支持型装置埋入手術	・植込骨導補聴器移植術及
・手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	・植込型骨導補助器交換術
・歯周組織再生誘導手術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ（拡大副鼻腔手術）
・上顎・下顎骨形成術（歯科診療に係るものに限る）	・経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）
・クラウン・ブリッジ維持管理料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
・う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの）
・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・歯科技工加算	・上顎骨形成術（歯科診療以外の診療に係るものに限る）
・上顎骨形成術（歯科診療に係るものに限る）	・下顎骨形成術（歯科診療以外の診療に係るものに限る）
・下顎骨形成術（歯科診療に係るものに限る）	・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
・外来栄養食事指導料	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（MRIによるもの）
・外来栄養食事指導料（注2に規定する施設基準）	・乳房切除術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する)
・外来栄養食事指導料（注3に規定する施設基準）	・乳腺悪性腫瘍手術（乳頭乳輪温存乳房切除（腋窩郭清を伴わないもの） 及び乳頭乳輪切除術（腋窩郭清を伴うもの））
・心臓ペースメーカー指導管理料	
・高度難聴指導管理料	・乳房悪性腫瘍手術（乳がんセンチネルリンパ節加算1、2）
・糖尿病合併症管理料	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術
・がん性疼痛緩和指導管理料	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・がん患者指導管理料イ・ロ・ハ・ニ	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・外来緩和ケア管理料	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・移植後患者指導管理料	・肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る）
・糖尿病透析予防指導管理料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡支援機器を用いる場合）
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は1肺葉を超えるもの）

・婦人科特定疾患治療管理料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
・腎代替療法指導管理料	・内視鏡による縫合術・閉鎖術
・一般不妊治療管理料	【食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの),
・生殖補助医療管理料1	内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術,
・下肢創傷処置管理料	胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・外来放射線照射診療料	小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・外来腫瘍化学療法診療料1	結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・外来腫瘍化学療法診療料　注6連携充実加算	腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・開放型病院共同指導料	尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅱ）	膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの),
・がん治療連携計画策定料	膣腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)】
・認知症専門診断管理料	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・肝炎インターフェロン治療計画料	・経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
・外来排尿自立指導料	・胸腔鏡下弁形成術
・ハイリスク妊婦連携指導料1・2	・経カテーテル弁置換術（頚心尖大動脈弁置換術）
・こころの連携指導料（Ⅱ）	・経カテーテル弁置換術（経皮的大動脈弁置換術）
・薬剤管理指導料	・経カテーテル弁置換術（経皮的肺動脈弁置換術）
・診療情報提供料（Ⅰ）	・胸腔鏡下弁置換術
・診療情報提供料（Ⅰ）　注16地域連携診療計画加算	・経皮的僧帽弁クリップ術
・診療情報提供料（Ⅰ）　注18検査・画像情報提供加算	・不整脈手術左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるものに限る）
・電子的診療情報提供料	・経皮的中隔心筋焼灼術
・医療機器安全管理料1・2	・ペースメーカー移植術
・在宅血液透析指導管理料	・ペースメーカー移植術（リードレスペースメーカー）
・在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料	・ペースメーカー交換術
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・両心室ペースメーカー移植術
・持続血糖測定器加算	・両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）
・遺伝学的検査	・両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）
・染色体検査　注2絨毛染色体検査	・両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）
・骨髄微小残存病変量測定	・植込型除細動器移植術（心筋リードを用いるもの）
・BRCA1/2遺伝子検査	・植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの）

・がんゲノムプロファイリング検査	・植込型除細動器移植術（皮下植込型リードを用いるもの）
・特殊分析（先天性代謝異常症検査）	・植込型除細動器交換術（その他のもの）
・自己抗体検査（抗HLA抗体（スクリーニング検査））	・植込型除細動器交換術（心筋リードを用いるもの）
・自己抗体検査（抗HLA抗体（抗体特異性同定検査））	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術（心筋電極の場合）
・HPV核酸検出	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）
・HPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術（心筋電極の場合）
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出	・両室ペーシング機能付埋込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）
・検体検査判断料（検体検査管理加算（Ⅰ）（Ⅳ））	・経静脈電極抜去術
・検体検査判断料（国際標準検査管理加算）	・大動脈バルーンパンピング法（IABP法）
・検体検査判断料（遺伝カウンセリング加算）	・経皮的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）
・検体検査判断料（遺伝性腫瘍カウンセリング加算）	・補助人工心臓
・心臓カテーテル法による諸検査（血管内視鏡検査加算）	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）
・時間内歩行試験	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）
・シャトルウォーキングテスト	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・超音波検査（胎児心エコー法）	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・皮下連続式グルコース測定	・腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
・長期継続頭蓋内脳波検査	・腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
・脳波検査判断料1	・腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
・神経学的検査	・腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・全視野精密網膜電図	・胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）
・黄斑局所網膜電図	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
・ロービジョン検査判断料	・胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うもの）
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下肝切除術（部分切除、外側区域切除）
・内服・点滴誘発試験	・腹腔鏡下肝切除術（亜区域切除、1区域切除（外側区域切除を除く）、 2区域切除及び3区域切除以上のもの）
・センチネルリンパ節生検（併用法）	
・前立腺生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの）	・生体部分肝移植術
・経気管肺生検法（CT透視下気管支鏡検査加算）	・同種死体肝移植術
・画像診断管理加算1，2，3	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術

・ポジトロン断層撮影	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く）
・ポジトロン断層・コンピュータ断層複合撮影	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下膵頭部切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合を除く）
・CT撮影（冠動脈CT撮影加算）	・腹腔鏡下膵頭部切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・CT撮影（外傷全身CT加算）	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・内視鏡的小腸ポリープ切除
・MRI撮影（心臓MRI撮影加算	・腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・MRI撮影（乳房MRI撮影加算）	・腹腔鏡下直腸切除・切断術（低位前方切除術）内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・MRI撮影（頭部MRI撮影加算）	・腹腔鏡下直腸切除・切断術（切断術）内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・MRI撮影（肝エラストグラフィ加算）	・副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
・処方料（抗悪性腫瘍剤処方管理加算）	・腎腫瘍凝固・焼灼術（冷凍凝固によるもの）
・外来化学療法加算1	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
・無菌製剤処理料1	・腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・心大血管疾患リハビリテーション料（Ｉ）	・同種死体腎移植術
・脳血管疾患等リハビリテーション料（Ｉ）	・生体腎移植術
・運動器リハビリテーション料（Ｉ）	・膀胱水圧拡張術
・呼吸器リハビリテーション料（Ｉ）	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・摂食機能療法（摂食嚥下機能回復体制加算）	・人工尿道括約筋植込・置換術
・がん患者リハビリテーション料	・膀胱頸部形成術（膀胱頸部吊上術以外）
・認知療法・認知行動療法	・埋没陰茎手術
・精神科ショート・ケア（小規模なもの）	・精巣内精子採取術
・精神科デイ・ケア（小規模なもの）	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器加算を用いるもの）
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料	・腹腔鏡下仙骨膣固定術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・医療保護入院等診療料	・腹腔鏡下膣式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
・硬膜外自家血注入	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）
・エタノールの局所注入（甲状腺・副甲状腺）	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る）
・人工腎臓（慢性維持透析を行った場合1）	・腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
・人工腎臓（導入期加算2（腎代替療法実績加算））	・子宮附属器腫瘍摘出術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する）
・人工腎臓（導入期加算3）	・胎児胸腔・羊水腔シャント術

・人工腎臓（透析液水質確保加算）	・臍帯穿刺
・血漿交換療法（難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に 対するLDLアフェレシス療法）	・体外式模型人工肺管理料
	・輸血管理料（Ⅰ）
・血管交換療法（移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法）	・輸血管理料（貯血式自己血輸血管理体制加算）
・皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算）	・自己生体組織接着剤作成術
・皮膚移植術（死体）	・同種クリオプレシピテート作製術
・組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る）【一次再建・二次再建】	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・処理骨再建加算 【四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術 骨悪性腫瘍手術】	・胃瘻造設時嚥下評価機能加算
	・麻酔管理料Ⅰ
	・麻酔管理料Ⅰ（周術期薬剤管理加算）
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種移植術（非生体） （同種骨移植術（特殊なものに限る）））	・麻酔管理料Ⅱ
	・放射線治療管理料（放射線治療専任加算）
・骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）	・放射線治療管理料（外来放射線治療加算）
・後縦靭帯骨化症手術（前方進入によるもの）	・体外照射（1回線量増加加算（全乳房照射））
・椎間板摘出術（椎間板内酵素注入療法 ）	・体外照射（画像誘導放射線治療加算（IGRT））
・腫瘍脊椎骨全摘出術	・体外照射（体外照射呼吸性移動対策加算）
・脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）	・体外照射（高エネルギー放射線治療）
・脳刺激装置交換術	・体外照射（強度変調放射線治療（IMRT））
・癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）	・1回線量増加加算（前立腺照射）
・脊髄刺激装置植込術	・直線加速器による放射線治療（定位放射線治療）
・脊髄刺激装置交換術	・定位放射線治療呼吸移動対策加算
・角結膜悪性腫瘍切除手術	・密封小線源治療（画像誘導密封小線源治療加算）
・角膜移植術（内皮移植加算）	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・羊膜移植術	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・緑内障手術（流出路再建術（眼内法））	・病理診断料（デジタル病理画像による病理診断）
・緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））	・病理診断料（病理診断管理加算2）
・緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）	・病理診断料（悪性腫瘍病理組織標本加算）

（様式第2）

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。
(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療（当該病院において提供していたものに限る。）から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	(1.)臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	180回/年	
剖検の状況	剖検症例数（例）	25例
	剖検率（%）	6.6%

（注） 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元			
レセプトデータベース(NDB)の利用を容易にするための包括的支援システムの開発	田辺正樹	医学部附属病院	200,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
アポクリン癌を含むアポクリン病変診断の分子病理学的再構築	小塚祐司	医学部附属病院	1,968,208	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
抑制機能からみた自閉症スペクトラム障害	元村英史	医学部附属病院	36,980	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
細胞外マトリックス(テネイシンC)による放射線肺障害の病態解明とその臨床応用	高田彰憲	医学部附属病院	1,670,865	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
左心系心疾患における運動時左房機能と右室肺動脈カップリングの関連と予後予測の検討	杉本匡史	医学部附属病院	1,980,655	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
心肥大及び心不全発症における、ねじれ運動制御機構の解明	岡本隆二	医学部附属病院	921,408	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
本邦の集中治療領域における新たなQuality indicatorの構築	中橋奨	医学部附属病院	1,075,532	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
デュピュイトラン拘縮に対する核酸治療の導入	辻井雅也	医学部附属病院	1,186,960	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
ヒト椎間板変性に対するエピゲノムワイド関連解析	明田浩司	医学部附属病院	1,327,527	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
精神障害の親を持つ子どもの自尊心回復に向けたアプローチ―訪問型家族支援の導入―	鈴木大	医学部附属病院	96,850	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
ヒト剖検脳とモデルマウスを用いた脳アミロイド血管症の病態解明	水谷あかね	医学部附属病院	1,351,124	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
パーキンソン病におけるMRI画像と高次機能の関連	松浦慶太	医学部附属病院	675,273	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
胎児発育不全妊婦のMRIによる胎盤、胎児の酸素濃度変動測定とタダラフィルの効果	二井理文	医学部附属病院	971,474	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
人工知能を用いた、胸部X線写真から血行動態指標を予測する方法の開発	鳥羽修平	医学部附属病院	374,827	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
最新人工心肺における吸入麻酔薬投与システムの確立	住吉美穂	医学部附属病院	100,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
マトリセルラー蛋白を標的としたくも膜下出血後脳損傷の新規診断法の開発	西川拓文	医学部附属病院	1,150,903	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
生体内より摘出された抗酸化剤添加ポリエチレンの物質構造の変化	刀根慎恵	医学部附属病院	286,944	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
精神保健分野における開業保健師活動に必要な要素の探求	井倉一政	医学部附属病院	581,847	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
泌尿器腫瘍の診断・治療のための生体膜修飾で拓くナノキャリアのプラットホーム作製	林昭伸	医学部附属病院	1,059,875	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
骨格筋-脳コミュニケーション異常と敗血症関連脳症：骨格筋エキソソームの役割解明	川本英嗣	医学部附属病院	9,276,316	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
こどもの生活と発達の「見えづらさ」に着目した状況特定理論の構築	河俣あゆみ	医学部附属病院	250,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
がんゲノム薬理情報とTDMを活用した個別化薬物治療の実用化に向けた研究	岩本卓也	医学部附属病院	1,407,024	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
膵癌における一次線毛の機能異常と臨床病理学的特性との連関	内田克典	医学部附属病院	1,200,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
エネルギー代謝に注目した多機能遺伝子改変γδT細胞の追求	石原幹也	医学部附属病院	1,034,566	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
がん遺伝子パネル検査の外部精度評価スキームの戦略的実践によって検査の質向上を図る	中谷中	医学部附属病院	273,870	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
精神病症状を伴う双極性障害と統合失調症の神経ネットワーク～白質障害の比較解析～	城山隆	医学部附属病院	1,456,047	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
肝細胞内容積と肝細胞機能の統合的診断の開発と肝切除術前評価への応用	市川泰崇	医学部附属病院	2,300,920	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
心筋の拡張障害に対する脱細胞化細胞外マトリックスによる物理特性の影響の検討	森脇啓至	医学部附属病院	347,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
肺高血圧症の肺動脈新生内膜形成の機序：肺トランスクリプトーム解析によるアプローチ	淀谷典子	医学部附属病院	1,057,009	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
前向き研究に向けたIgA腎症の組織学的重症度分類の解析プラットフォームの構築	片山鑑	医学部附属病院	30,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
国際共同によるNK/T細胞リンパ腫の病態比較と治療最適化	山口素子	医学部附属病院	1,791,508	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
胆道閉鎖症における肝門部微小胆管の二光子レーザー顕微鏡による観察研究	井上幹大	医学部附属病院	2,256,215	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
縫合不全と術後癒着防止のための自己支持性高分子超薄膜(ナノシート)の開発	横田一樹	医学部附属病院	150,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
潰瘍性大腸炎関連大腸癌と孤発性大腸癌を鑑別するDNAメチル化マーカーの開発	近藤哲	医学部附属病院	3,351,850	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
医療事故情報の適切な提示を可能とする組織的対応の基礎的知見構築	兼児敏浩	医学部附属病院	200,796	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
看護師が関節リウマチ患者に行う生物学的製剤自己注射指導プログラムの開発	中島亜矢子	医学部附属病院	50,000	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
3対6筋モデルの足関節への拡張による転倒予防のための評価・改善・支援手法の開発	北浦有紀絵	医学部附属病院	2,815,510	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
4D flow MRIを用いた大動脈解離の血流評価及び予後予測	東川貴俊	医学部附属病院	1,758,461	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
ドナー骨髄由来M2マクロファージによる急性GVHDの新規治療	花木良	医学部附属病院	1,037,100	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
EMAST陽性胃癌に対する抗PD-1抗体による抗腫瘍免疫応答の解明	北嶋貴仁	医学部附属病院	2,497,158	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
膵癌リスク患者での膵癌早期発見におけるアポリポプロテインAIIの有用性	早崎碧泉	医学部附属病院	649,059	(補)委	独立行政法人日本学術振興会		
ヒト脳脊髄液の多角的プロテオミクスによる術後せん妄の機序解明および創薬標的の探索	中森裕毅	医学部附属病院	1,307,273	(補)委	独立行政法人日本学術振興会	小計	
VR(仮想現実感)による術後せん妄予防：ICU入室患者での検討	江角亮	医学部附属病院	2,928,913	(補)委	独立行政法人日本学術振興会	56,443,847	43

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元			
レジリエンスを強化する医療者間コミュニケーションの構造解明:ウェアラブルの活用	伊藤亜紗実	医学部附属病院	2,529,629	補助	独立行政法人日本学術振興会		
てんかんに着目したくも膜下出血後早期脳損傷の病態解明	川北　文博	医学部附属病院	1,619,948	補助	独立行政法人日本学術振興会		
流産モデルマウスにおける免疫機構の解明と不育症による流産に対する新規治療法の開発	北野裕子	医学部附属病院	1,595,583	補助	独立行政法人日本学術振興会		
子宮内膜菲薄化モデルマウスに対するPDE5阻害薬の効果と作用機序の解明	西岡美喜子	医学部附属病院	1,974,782	補助	独立行政法人日本学術振興会		
胸部X線写真から血行動態を定量的に評価する人工知能の開発と臨床応用	鳥羽修平	医学部附属病院	6,632,886	補助	独立行政法人日本学術振興会		
脳アミロイド血管症:ペントラキシン3を標的とした新規治療法の開発	新堂晃大	医学部附属病院	1,599,102	補助	独立行政法人日本学術振興会		
聴覚変化応答と脳内抑制系を標的とした双極性障害の神経認知の探索	元村英史	医学部附属病院	800,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
放射線性心臓障害における免疫学的機序の解明	豊増泰	医学部附属病院	1,458,890	補助	独立行政法人日本学術振興会		
実験的肺高血圧における周産期侵襲によるエピゲノム変化を介した分子病態の解明	三谷義英	医学部附属病院	2,550,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
肺癌発症における細菌叢の関与の研究	小林哲	医学部附属病院	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
巣状糸球体硬化症発症におけるポドサイト特異的遺伝子CRB2の機能解明	片山鑑	医学部附属病院	915,054	補助	独立行政法人日本学術振興会		
細菌由来新規アポトーシス誘導ペプチドによる糖尿病性腎臓病の進展機序の解明	矢野裕	医学部附属病院	1,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
リンパ球系起源の樹状細胞ならびにB1B細胞の分化機構と生理的役割の解明	大石晃嗣	医学部附属病院	2,168,231	補助	独立行政法人日本学術振興会		
難治性B細胞リンパ腫の腫瘍起源の解明と治療法の探索	宮崎香奈	医学部附属病院	1,696,110	補助	独立行政法人日本学術振興会		
治療抵抗性乳癌に対するGD2を標的とした新規免疫療法の開発	齋藤佳菜子	医学部附属病院	1,604,440	補助	独立行政法人日本学術振興会		
ヒルシュスプルング病類縁疾患の新規生体観察手法による高精度術中迅速診断法の確立	小池勇樹	医学部附属病院	2,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
The Significance and Mechanism of TF-FXa-Thrombin	栗山直久	医学部附属病院	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
Micro CTによる先天性心疾患の高精細3Dアトラス作成と心内組織三次元可視化	山崎誉斗	医学部附属病院	1,493,201	補助	独立行政法人日本学術振興会		
多層プロテオーム解析による新規肺非腺癌治療法の開発	川口晃司	医学部附属病院	591,693	補助	独立行政法人日本学術振興会		
エキソソームPD-L1が敗血症性免疫麻痺を誘導するメカニズムの解明	川本英嗣	医学部附属病院	1,628,384	補助	独立行政法人日本学術振興会		
肺高血圧発症における内皮選択的ずり応力反応転写因子ATOH9の役割	三谷義英	医学部附属病院	50,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
ILC2の疲弊が惹起する代謝制御異常:敗血症性ミオパチーとPD-L1エキソソーム	赤間悠一	医学部附属病院	900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
インテグリン・ターゲティングによる新型コロナウイルス誘導性ARDSの治療法開発	今井寛	医学部附属病院	1,700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
皮膚揮発性物質分析による農薬中毒の診断法の実用化	川本英嗣	医学部附属病院	200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
コンピューター数値流体力学解析および動的造影MRIによる脳動脈瘤の壁性状の検討	三浦洋一	医学部附属病院	800,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
運動器廃用性疼痛動物モデルを用いた免疫応答制御による疼痛メカニズムの探求	若林弘樹	医学部附属病院	1,901,418	補助	独立行政法人日本学術振興会		
癌関連線維芽細胞の形質転換による前立腺癌の進展制御	佐々木豪	医学部附属病院	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
リンパ系に着目した成体イモリの組織再生機構の解明	白石真土	医学部附属病院	1,182,523	補助	独立行政法人日本学術振興会		
PDE1を分子標的とした口腔悪性黒色腫新規治療法の開発	清水香澄	医学部附属病院	1,066,319	補助	独立行政法人日本学術振興会		
地域圏統合型医療情報データベースを活用したヨード造影剤の安全使用に係る提言	兼児敏浩	医学部附属病院	1,590,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
多職種で取り組むこどものセルフケアに着目した在宅支援モデルの構築	河俣あゆみ	医学部附属病院	50,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
リンパ管新生阻害因子による炎症調節機構の解明	加藤大祐	医学部附属病院	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
細胞膜透過性亢進を利用した腫瘍凍結療法の新規技術開発	藤森将志	医学部附属病院	1,589,802	補助	独立行政法人日本学術振興会		
胸部X線透視動画解析ソフトを活用した新たな肺血栓塞栓症診断アルゴリズムの確立	荻原義人	医学部附属病院	2,123,030	補助	独立行政法人日本学術振興会		
細菌由来アポトーシス促進ペプチドを標的とした特発性肺線維症治療法の開発	安間太郎	医学部附属病院	1,600,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
腎・尿路細菌叢および関連ペプチドが腎線維化に与える影響の解明	西濱康太	医学部附属病院	1,800,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
くも膜下出血後の早期脳損傷における上皮成長因子受容体の役割の解明	中野芙美	医学部附属病院	2,115,297	補助	独立行政法人日本学術振興会		
機械学習を用いてBRVOの治療予後を黄斑部OCT画像から予測する	松井　良諭	医学部附属病院	479,501	補助	独立行政法人日本学術振興会		
小児患者の抗菌薬初期投与設計のアルゴリズムおよびノモグラムの作成	加藤秀雄	医学部附属病院	1,175,500	補助	独立行政法人日本学術振興会		
先天性心疾患を主体とする小児期発症の心血管難治性疾患の救命率の向上と生涯にわたる	三谷義英	医学部附属病院	900,000	補助	厚生労働省		
新型インフルエンザ等の感染症発生時のリスクマネージメントに資する感染症の	田辺正樹	医学部附属病院	1,000,000	補助	厚生労働省		
小児がんの子どもに対する充実した在宅医療体制整備のための研究	岩本彰太郎	医学部附属病院	150,000	補助	厚生労働省		
公衆衛生体制の見直しと新たな体制構築のための政策研究	田辺正樹	医学部附属病院	47,500,000	補助	厚生労働省		
HIV感染症および血友病におけるチーム医療の構築と医療水準の向上を目指した研究	松本剛史	医学部附属病院	1,500,000	補助	厚生労働省	小計	
生活期におけるリハビリテーション・栄養・口腔管理の協働に関するケアガイドライン	百崎良	医学部附属病院	425,000	補助	厚生労働省	110,156,323	45
関節リウマチ診療ガイドラインの改訂による医療水準の向上に関する研究	中島亜矢子	医学部附属病院	145,000	補助	厚生労働省		

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元			
痛みセンターを中心をした慢性疼痛診療システムの均てん化と診療データベース活用	横地歩	医学部附属病院	200,000	補 委	厚生労働省		
小児・AYA世代がん患者に対する生殖機能温存に関わる心理支援の均てん化と安全な長期検体保管体制	前沢忠志	医学部附属病院	1,000,000	補 委	厚生労働省		
感染症危機的対応医薬品等の利用可能性確保に関する研究	田辺正樹	医学部附属病院	31,500,000	補 委	厚生労働省		
医療的ケアが昼夜必要な在宅療養児の養育者の生活に即した地域包括支援システムの構築	岩本彰太郎	医学部附属病院	150,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
科学的介護情報システムを用いた包括的介護サービス研究	百崎良	医学部附属病院	3,250,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
ラットを用いたオラパリブ誘発性貧血の機序と葉酸の関連性に関する研究	白石ちひろ	医学部附属病院	310,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
新型コロナウイルス感染症拡大が出生率に及ぼす影響と子育て支援に関する探索的研究	池田若葉	医学部附属病院	500,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
高精度で迅速なAI病理診断システムの社会実装に向けた多施設共同研究	石飛真人	医学部附属病院	50,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
小児急性骨髄性白血病に対する免疫学的アジュバント療法の探索的研究	岩本彰太郎	医学部附属病院	1,000,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
膵癌進展の病態伝播を担う細胞外小胞の機能解明~臨床応用を目指して~	坪井順哉	医学部附属病院	1,000,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
胆汁酸を起点とした肝筋連関の解明と肝性サルコペニアの診断・治療	岩佐元雄	医学部附属病院	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
MR関連高血圧症による心不全発症メカニズムの解明	岡本隆二	医学部附属病院	1,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
透析患者における冠動脈形成術後の至適抗血小板薬投与期間と炎症マーカーとの関連	栗田泰郎	医学部附属病院	1,500,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
酪酸産生菌によるウイルス性呼吸器感染症に対する治療効果の検討とその作用機序の解明	加藤秀雄	医学部附属病院	50,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
Epigenetic Driftの概念による大腸癌RNAメチル化指標の開発	奥川喜永	医学部附属病院	1,500,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
心停止後症候群におけるPD-L1を介した免疫機能制御不全の分子メカニズムの解明	池尻薫	医学部附属病院	1,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
肺炎・腎不全-関連ICUせん妄の予測AIモデルの開発とフィジビリティ検証	新貝達	医学部附属病院	1,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
多血小板血漿由来エクソソームを用いた椎間板再生治療の開発	明田浩司	医学部附属病院	800,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
胎児の脳損傷を予防するための心拍細変動解析による分娩監視指標の開発	真川祥一	医学部附属病院	1,400,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
分娩時胎児酸素化能改善を目的とした母体へのタダラフィル投与の安全性についての検証	田中博明	医学部附属病院	800,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
頭頸部癌の化学放射線療法の効果を高め、有害事象を抑制する新規抗miR-21療法	石永一	医学部附属病院	1,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
黄斑浮腫の形成と進行における血液凝固系因子が果たす機序の解明	杣本昌彦	医学部附属病院	600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
cAMP-PDE2シグナル伝達の区画化の概念による悪性黒色腫の新たな治療方法	村田琢	医学部附属病院	1,000,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
COVID-19によるパンデミック後の新興感染症対策の再構築にかかる研究	田辺正樹	医学部附属病院	300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
誤嚥性肺炎の経験的治療におけるセフトリアキソンの有効性および至適投与法の探索	加藤秀雄	医学部附属病院	300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
マルチパラメトリックMRI解析による小児脳腫瘍の診断と治療効果判定の有用性の検討	小久江良太	医学部附属病院	1,900,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
ホスホジエステラーゼ5阻害薬：タダラフィル投与による胎児発育改善のメカニズム解明	真木晋太郎	医学部附属病院	1,600,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
妊婦および新生児サイトメガロウイルススクリーニング体制の両立に向けた研究	鳥谷部邦明	医学部附属病院	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
自然免疫と転写因子の関連性を介したB型肝炎ウィルス新規治療法の開発	爲田雅彦	医学部附属病院	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
半月板損傷における多血小板フィブリンの効果とその分子学的メカニズムの解明	千賀佳幸	医学部附属病院	1,800,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
抜去されたPS型脛骨インサートにおけるpostの損傷メカニズムと酸化劣化の解析	刀根慎恵	医学部附属病院	3,000,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
男性不妊治療改善に向けた細胞外耐凍剤と抗酸化化合物が凍結精子に与える影響の解明	前沢忠志	医学部附属病院	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
Th1/Th2バランスをターゲットとしたPDE5阻害薬による流産改善効果の検証	高山恵理奈	医学部附属病院	1,100,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
タダラフィル母体投与が胎児発育不全児の神経学的予後を改善するメカニズムの解明	二井理文	医学部附属病院	800,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
入院関連能力障害に対する包括的予防戦略の確立	百崎良	医学部附属病院	2,050,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会		
再発危険因子を有するStageⅡ大腸癌に対するUFT/LV療法の臨床的有用性に関する研究（JFMC46-1201）	間山裕二	医学部附属病院	3,136	補 委	公益財団法人がん集学的治療研究財団		
腹腔鏡下直腸癌手術後の縫合不全予防に対する近赤外光観察を用いた腸管血流評価の有効性に関するランダム化比較試験（EssentiAL study）	川村幹雄	医学部附属病院	15,385	補 委	北海道公立大学法人札幌医科大学		
関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究（PROFILE-J：PROspective sarilumab (preFILled syringe/pen) obsErvational study - Japan）	中島亜矢子	医学部附属病院	372,311	補 委	産業医科大学・IQVIAサービシーズジャパン株式会社		
関節リウマチを対象とした日常診療下におけるサリルマブの前向き観察研究（PROFILE-J：PROspective sarilumab (preFILled syringe/pen) obsErvational study - Japan）	若林弘樹	医学部附属病院	465,387	補 委	産業医科大学・IQVIAサービシーズジャパン株式会社		
担がん患者に合併した静脈血栓塞栓症における非ビタミンK阻害経口抗凝固薬リバーロキサバン治療の前向き臨床研究(PRIMECAST)	荻原義人	医学部附属病院	423,100	補 委	学校法人国際医療福祉大学		
ST上昇型急性心筋梗塞に対するエキシマレーザー冠動脈形成術が心筋サルベージに与える影響	栗田泰郎	医学部附属病院	126,925	補 委	学校法人東海大学		
高齢者非扁平上皮非小細胞肺癌に対するカルボプラチン・ペメトレキセド・アテゾリズマブ併用後ペメトレキセド・アテゾリズマブ維持療法の第2相試験：CJLSG1902	小林哲	医学部附属病院	169,231	補 委	独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター		
先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施設症例登録研究	三谷義英	医学部附属病院	46,152	補 委	国立大学法人東京医科歯科大学	小計	
3Dプリント技術を用いた新規肺マーキング法の開発	金田真吏	医学部附属病院	3,564,622	補 委	国立大学法人東海国立大学機構	75,791,249	45

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元			
川崎病に伴う冠動脈後遺症の成人期の予後と移行医療の実態に関する研究	三谷義英	医学部附属病院	9,110,000	補	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症(CADASIL)患者を対象としたアドレノメデュリン静注療法による安全性および有効性に関する多施設共同単群試験	冨本秀和	医学部附属病院	3,000,000	補	国立研究開発法人国立循環器病研究センター		
小児急性骨髄性白血病(de novo AML)に対する標準的治療法の確立	岩本彰太郎	医学部附属病院	1,000,000	補	国立大学法人京都大学		
高悪性度骨軟部腫瘍に対する標準治療確立のための研究	淺沼邦洋	医学部附属病院	450,000	補	国立大学法人岡山大学		
令和4年度HIV感染者等保健福祉相談事業	大石晃嗣	医学部附属病院	675,000	補	公益財団法人エイズ予防財団		
HIV関連病態である血友病の豊かな未来を目指した画期的治療法・診断法の創出	大石晃嗣	医学部附属病院	2,000,000	補	学校法人自治医科大学		
未治療低腫瘍量濾胞性リンパ腫に対するリツキシマブ早期介入に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	宮崎香奈	医学部附属病院	500,000	補	国立大学法人山形大学		
サルコペニア・フレイルの予防に関するヘルスケアサービスのためのガイドライン開発研究	百崎良	医学部附属病院	1,000,000	補	国立研究開発法人国立長寿医療研究センター		
生命・医学系指針を遵守する介入研究を対象とするRisk-Based Approachの実装に向けた整備、方策等の研究開発	田丸智巳	医学部附属病院	2,474,729	補	国立大学法人金沢大学		
先天性GPI欠損症に対する新規補充療法の治療効果の検討	平山雅浩	医学部附属病院	884,640	補	国立大学法人大阪大学		
人工関節インプラントの解析に関する研究	刀根慎恵	医学部附属病院	409,231	補	大塚電子株式会社		
表面処理生体活性化チタン合金の脊椎Pedicle screwの応用に関する研究	明田浩司	医学部附属病院	434,783	補	学校法人中部大学・高山医療		
認知症疾患医療センター運営事業	脳神経内科	医学部附属病院	10,173,460	補	三重県		
令和4年度三重県地域医療支援センターキャリア形成支援事業	岡本隆二	医学部附属病院	44,500,000	補	三重県		
三重県がん登録情報活用事業	がんセンター	医学部附属病院	21,901,000	補	三重県		
三重県がん検診受診促進・精度管理事業 (健診センター：三重県)	がんセンター	医学部附属病院	5,934,500	補	三重県		
感染対策ネットワーク事業	田辺正樹	医学部附属病院	799,700	補	三重県		
肝疾患診療地域連携体制強化事業	池田智明	医学部附属病院	12,932,700	補	三重県		
肝炎情報センター戦略的強化事業	池田智明	医学部附属病院	2,310,000	補	三重県		
がん医療水準均てん化の推進に向けた看護職員資質向上対策事業	がんセンター	医学部附属病院	1,703,000	補	三重県		
三重県周産期医療ネットワークシステム運営研究事業	池田智明	医学部附属病院	3,651,120	補	三重県		
三重県医療的ケア児・者相談支援センター本部事業業務	岩本彰太郎	医学部附属病院	7,487,000	補	三重県		
難病医療ネットワーク整備事業	池田智明	医学部附属病院	4,586,368	補	三重県		
看護管理者の院内・地域内継続学習の推進事業	池田智明	医学部附属病院	902,000	補	三重県		
エイズ治療拠点病院等に対する研修・啓発及び医療情報提供等業務委託	大石晃嗣	医学部附属病院	713,000	補	三重県		
受事／病／認知症対応力向上研修事業	脳神経内科	医学部附属病院	910,000	補	三重県		
令和4年度三重県認知症サポート医フォローアップ研修事業	平田佳寛	医学部附属病院	338,462	補	公益社団法人三重県医師会		
慢性疼痛診療システム普及・人材養成モデル事業	横地歩	医学部附属病院	3,200,000	補	学校法人愛知医科大学		
がん診療連携拠点病院機能強化事業	がんセンター	医学部附属病院	41,947,000	補	厚生労働省		
小児がん拠点病院機能強化事業	がんセンター	医学部附属病院	25,000,000	補	厚生労働省		
三重県新人看護職員研修事業	池田智明	医学部附属病院	1,785,000	補	三重県		
認知症ケアの医療介護連携体制構築事業	池田智明	医学部附属病院	6,480,000	補	三重県		
小児在宅医療・福祉連携事業	岩本彰太郎	医学部附属病院	15,560,000	補	三重県		
総合診療医広域育成拠点整備事業	池田智明	医学部附属病院	1,413,000	補	三重県		
がんゲノム診療連携拠点病院事業	池田智明	医学部附属病院	20,000,000	補	厚生労働省		
周産期新生児科指導医育成事業	池田智明	医学部附属病院	12,000,000	補	三重県		
津市こども救急教育事業	今井寛	医学部附属病院	250,000	補	津市		
人材育成事業(研修支援)	池田智明	医学部附属病院	1,000,000	補	公益財団法人日本医師会		
看護師の特定行為に対する研修事業	池田智明	医学部附属病院	1,879,000	補	厚生労働省		
産婦人科・小児科専門医確保対策事業	池田智明	医学部附属病院	384,000	補	三重県		
臨床研修事業(医師)	池田智明	医学部附属病院	1,230,515	補	三重県		
救急患者退院コーディネーター事業	池田智明	医学部附属病院	1,408,000	補	三重県		
救急救命士病院実習受入促進事業	池田智明	医学部附属病院	164,000	補	三重県		
タートルアン湿原の自然浄化作用がラオス首都圏の環境衛生に果たす役割	翠川裕	医学系研究科	1,567,000	補	独立行政法人日本学術振興会	小計	
強大台風下の海洋観測に基づく温暖化時の高潮・高波・浸水予測	翠川裕	医学系研究科	130,356	補	独立行政法人日本学術振興会	276,178,564	45
中壮年からのロコモ検診、ロコモ予防	西村明展	医学系研究科	65,370	補	独立行政法人日本学術振興会		

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元			
嗅粘膜移植と炎症制御による神経再生を併用する神経性嗅覚障害の新規治療法開発研究	小林正佳	医学系研究科	56,680	補助	独立行政法人日本学術振興会		
イモリ型の臓器再生を可能にする体細胞リプログラミング因子の解明と医学への展開	成島三長	医学系研究科	50,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
総合診療専門医養成プログラムにおけるビデオレビューを用いた教育システムの構築	後藤道子	医学系研究科	1,541,057	補助	独立行政法人日本学術振興会		
超微小血管外科手技による動物リンパ液鬱滞モデル作成とリンパ浮腫発生機序の解明	石浦良平	医学系研究科	32,683	補助	独立行政法人日本学術振興会		
薬剤性心筋症早期診断を目指した非侵襲的心筋組織性状評価法の有用性の検討	中森史朗	医学系研究科	2,205,017	補助	独立行政法人日本学術振興会		
味細胞情報伝達機構の可逆的障害による味覚障害発症メカニズムの解明	西田幸平	医学系研究科	1,010,510	補助	独立行政法人日本学術振興会		
マウスを用いたin vivo 細胞融合法による神経軸索即時機能回復法の検討	成島三長	医学系研究科	98,184	補助	独立行政法人日本学術振興会		
フィリピンの大規模台風被災地における疾病再興対策にかかわる継続的水環境評価	翠川裕	医学系研究科	400,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
マダニ中のリケッチア存在有無による行動変貌の調査及びミノサイクリン適正利用の研究	近藤誠	医学系研究科	1,136,680	補助	独立行政法人日本学術振興会		
生体肝移植術後の血栓性微小血管障害症の病態解明とグラフト肝機能の改善を目指して	種村彰洋	医学系研究科	100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
間質性肺炎合併肺癌で2型自然リンパ球が果たす2つの役割：線維化促進と腫瘍免疫抑制	伊藤温志	医学系研究科	1,053,800	補助	独立行政法人日本学術振興会		
前立腺癌の去勢抵抗性獲得におけるCD105が関連する内皮間葉分化転換の役割	加藤学	医学系研究科	857,664	補助	独立行政法人日本学術振興会		
就労と治療の両立に関する労働者用リテラシー教育方略の開発と教育効果の測定	市川周平	医学系研究科	3,291,830	補助	独立行政法人日本学術振興会		
病原細菌エフェクターによるNF-κB経路を標的とした感染機構の解析	谷一寿	医学系研究科	300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
筋肉障害及び修復におけるデスミンリン酸化の生理的・病態的意義の解明	山川大史	医学系研究科	1,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
逐次近似法再構成冠動脈CTが臨床転帰に与える影響に関する多施設無作為化比較試験	北川覚也	医学系研究科	55,600	補助	独立行政法人日本学術振興会		
高解像3次元脳MRIを用いた脳小血管病の血管周囲腔定量評価法の開発	前田正幸	医学系研究科	1,807,920	補助	独立行政法人日本学術振興会		
難治胆管癌の克服に向けた脂質代謝を標的とする新規治療法の開発	中川勇人	医学系研究科	200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
RNAメチル化を介した胃癌腹膜播種進展の機序解明	田中光司	医学系研究科	3,157,040	補助	独立行政法人日本学術振興会		
早期肺腺癌のCT画像におけるAI（人工知能）補助診断の有用性検証	髙尾仁二	医学系研究科	650,040	補助	独立行政法人日本学術振興会		
バーチャルリアリティー（VR）を活用した麻酔科患者接遇改善研究	宮部雅幸	医学系研究科	1,440,969	補助	独立行政法人日本学術振興会		
頸動脈狭窄症における局所的乱流と脳梗塞発症リスクに関する研究	鈴木秀謙	医学系研究科	1,742,740	補助	独立行政法人日本学術振興会		
テネイシンC・シンデカン4・フィブロネクチンの軟骨に対する作用とシグナル伝達機構	長谷川正裕	医学系研究科	700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
脳梗塞後の麻痺回復とO-GlcNAc修飾を基盤とした脳内分子機構の解明	脇田英明	医学系研究科	300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
疲労関連タンパク質を用いた任意型健康診断集団における疾病予測研究	江口暁子	医学系研究科	700,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
CpGによる活性化T細胞エクソソームを介したがん悪性化制御作用及び分子機構の解明	百瀬文康	医学系研究科	316,931	補助	独立行政法人日本学術振興会		
同種造血幹細胞移植後慢性GVHDにおける臓器線維化メカニズムの解明と制御法の開発	伊野和子	医学系研究科	2,440,057	補助	独立行政法人日本学術振興会		
マウス胚性幹細胞から誘導したミュラー管細胞の機能性評価と子宮再生機序の解明	武内大輝	医学系研究科	1,538,883	補助	独立行政法人日本学術振興会		
心臓MRIテクスチャ解析によるがん治療関連心筋傷害早期診断バイオマーカーの開発	中森史朗	医学系研究科	10,900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
がん分子標的薬のOncocardiology研究	田中利男	医学系研究科	2,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
リン脂質のリポクオリティ変化からNASHの病態を解き明かす	中川勇人	医学系研究科	4,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
リン脂質のリポクオリティ変化からNASHの病態を解き明かす	中川勇人	医学系研究科	4,000,000	補助	国立大学法人東京大学		
薬効評価と治療シーズ探索可能なゼブラフィッシュ膀胱癌組織異種移植モデルの臨床応用	井上貴博	医学系研究科	3,900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
細胞選択的モデルが紐解くNAFLD/NASHに対するユビキチンプロテアーゼの役割	江口暁子	医学系研究科	100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
慢性脳低灌流状態でのアディポカインバランスの変化の解明	脇田英明	医学系研究科	1,838,642	補助	独立行政法人日本学術振興会		
慢性脳低灌流状態でのアディポカインバランスの変化の解明	脇田英明	医学系研究科	1,838,642	補助	学校法人藤田医科大学		
Dual-sequence法による3テスラ負荷心筋血流MRI定量解析法の検証	佐久間肇	医学系研究科	1,467,607	補助	独立行政法人日本学術振興会		
5D-GRASP法を用いた3テスラ造影冠動脈MRAの画像再構成に関する研究	石田正樹	医学系研究科	768,080	補助	独立行政法人日本学術振興会		
ポリオウイルスを用いた神経芽腫の新しい治療の研究	豊田秀実	医学系研究科	1,617,968	補助	独立行政法人日本学術振興会		
細胞系譜解析を用いたZone3肝細胞の肝障害時の挙動と発癌起源としての可能性	中川勇人	医学系研究科	200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
十二指腸乳頭部癌マウスモデルの樹立と幹細胞ニッチ・起源細胞解明	中川勇人	医学系研究科	200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
腎組織SGLT2とAT1R-NHE3経路の相互作用による心不全進展機序の解明	土肥薫	医学系研究科	1,545,437	補助	独立行政法人日本学術振興会		
皮膚における警報因子活性化システムの探索	山西清文	医学系研究科	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
皮膚における警報因子活性化システムの探索	山西清文	医学系研究科	1,100,000	補助	学校法人兵庫医科大学	小計	
急性GVHDとサイトカイン放出症候群の免疫病態に着目した輸注リンパ球制御法の開発	俵功	医学系研究科	1,000,000	補助	独立行政法人日本学術振興会	46	66,126,031
HLA半合致移植では、患者とドナーが共有しない方のHLA拘束性T細胞は存在するか	藤原弘	医学系研究科	330,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
小児IBD患者における腸管Organoid移植	松下航平	医学系研究科	1,800,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
バイオマーカーに基づくMAGE-A4／CAR-T細胞作製による食道癌の免疫療法	影山慎一	医学系研究科	1,390,065	補委	独立行政法人日本学術振興会
microRNAを活用した治療抵抗性膵癌患者に対する個別化医療	水野修吾	医学系研究科	600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ゲノム、エピゲノム統合解析による低侵襲潰瘍性大腸炎癌化リスク診断法の開発	問山裕二	医学系研究科	2,277,731	補委	独立行政法人日本学術振興会
大腸癌合併潰瘍性大腸炎の治療方針を規定するマーカーの開発	山本晃	医学系研究科	2,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
術後遷延痛における脊髄グルタミン酸トランスポーターの役割に関する検討	賀来隆治	医学系研究科	300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
肺高血圧発症における内皮選択的ずり応力反応転写因子ATOH8の役割	澤田博文	医学系研究科	400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ウェアラブル端末を用いた労働者運動器検診、ロコモ予防	西村明展	医学系研究科	2,535,835	補委	独立行政法人日本学術振興会
外傷性嗅覚障害に対する低侵襲クルクミン経口療法確立のための基礎研究	小林正佳	医学系研究科	1,529,020	補委	独立行政法人日本学術振興会
高齢者施設における写メを利用した食事調査ならびに健康管理システムの構築	西村明展	医学系研究科	200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性脳虚血が脳アミロイド血管症に及ぼす無菌性炎症とアミロイド排出障害の解明	石川英洋	医学系研究科	546,585	補委	独立行政法人日本学術振興会
トロンボモジュリンによる進行期の糖尿病性腎症の抑制	竹下敦郎	医学系研究科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
椎間板ヘルニアに対するコンドリアーゼ治療への多血小板血漿の応用	山田淳一	医学系研究科	2,632,740	補委	独立行政法人日本学術振興会
治験を目的とした、成人発症白質脳症のレジストリーと評価方法に関する研究	冨本秀和	医学系研究科	2,000,000	補委	厚生労働省
妊婦健康診査、産婦健康診査における妊産婦支援の総合的評価に関する研究	池田智明	医学系研究科	500,000	補委	厚生労働省
第8次医療計画に向けた周産期センターの集約化・重点化と周産期医療を担当する医師の確保・専門教育に関す	池田智明	医学系研究科	1,736,000	補委	厚生労働省
次世代型個別化TCR-T療法の確立に向けた基盤研究	宮原慶裕	医学系研究科	4,800,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
iPS細胞を用いた難治性気管支拡張症の新規診断法の確立と治療法の開発	竹内万彦	医学系研究科	1,500,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
光合成細菌由来コア光捕集複合体の光エネルギー変換最適化の構造基盤解明	谷一寿	医学系研究科	1,900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
代謝改変によるCAR-T細胞療法の有効性向上の試み	三輪 啓志	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
疲弊抵抗性CAR-Tと幹細胞様メモリーCAR-Tによるがん治療	王立楠	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
ヒアルロン酸誘導体がんワクチンのメモリーT細胞誘導作用とがん再発抑制機序の解明	百瀬文康	医学系研究科	1,400,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
血小板を加えた凝固波形解析ー血凝固異常における血小板の役割の解明ー	和田英夫	医学系研究科	1,600,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性心筋虚血の病態解明に向けた冠微小循環障害の非侵襲的CT診断法の確立	北川覚也	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
病変形成機序に基づく肺高血圧の新規治療標的の開発	澤田博文	医学系研究科	1,100,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
慢性皮膚炎症と精子形成不全・動脈硬化症・認知症等内臓病変とのクロストーク	山中恵一	医学系研究科	1,300,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
Exploring lineage determining factors for human megakaryocytes or erythroid differentiation in patie	永春圭規	医学系研究科	1,200,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
新生児腸管切除後のDysbiosisと腸管神経叢・腸上皮形成との関連性と治療戦略	内田恵一	医学系研究科	900,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
AIとradiomicsによる直腸癌術前治療の効果予測プログラム開発	川村幹雄	医学系研究科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会
間質性肺炎急性増悪の新規メカニズム：エクソソーム型サイトカインによる線維化作用	伊藤温志	医学系研究科	1,000,000	補委	独立行政法人日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元			
腎移植後BKポリオーマウイルス感染症発症の新たなリスクファクターの探索	西川晃平	医学系研究科	1,300,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
胎児発育不全治療薬のタダラフィルが胎児新生児循環に与える影響の解析	池田智明	医学系研究科	800,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
線毛機能不全症候群の診断精度向上に資する研究	竹内万彦	医学系研究科	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
外傷性嗅覚障害に対する高用量IgG療法確立のための基礎研究	石神瑛亮	医学系研究科	900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
低侵襲、低ノイズ、短時間化が可能な次世代小型ERG装置の開発と自動診断の試み	近藤峰生	医学系研究科	900,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
眼科領域のオンライン診療推進に関連する課題克服をめざして	生杉謙吾	医学系研究科	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会	小計	
顔面神経のtopographyを再建する新しい手術術式の開発	成島三長	医学系研究科	200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会	38	50,477,976
午睡（Nap time）導入による睡眠覚醒サイクル改善とせん妄予防効果の検証	松裏豊	医学系研究科	1,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
プロテアソーム阻害剤による味覚障害の発症に関与する要因の解明と看護介入	桝屋正浩	医学系研究科	1,200,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
直腸がん患者の低位前方切除後症候群の回復への多職種協働支援プログラム構築	問山裕二	医学系研究科	50,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
ラオスにおけるアルツハイマー病発症リスク要因の解明と食餌性予防因子の探索	翠川裕	医学系研究科	100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
頭部外傷動物実験モデルを用いたオステオポンチンの神経保護作用の解明	浅田玲緒尚	医学系研究科	1,500,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
遠隔での嚥下機能評価手法の確立と嚥下機能訓練の実行可能性の検討	松田佳奈	医学系研究科	2,100,000	補助	独立行政法人日本学術振興会		
次期がん対策推進基本計画に向けて小児がん拠点病院および連携病院の	平山雅浩	医学系研究科	200,000	補助	厚生労働省		
特発性大腿骨頭壊死症の医療水準及び患者QOL向上に資する大規模多施設研究	須藤啓広	医学系研究科	100,000	補助	厚生労働省		
自己免疫性出血症診療の「均てん化」のための実態調査と「総合的」診療指針の作成	和田英夫	医学系研究科	500,000	補助	厚生労働省		
三重県における自殺者数の経年推移の特性解析	岡田元宏	医学系研究科	1,000,000	補助	三重県		
Flow Diverterを用いた脳動脈瘤治療の効果と安全性に関する多施設共同登録研究	當麻直樹	医学系研究科	49,225	補助	地方独立行政法人神戸市民病院機構		
令和4年度生活習慣病予防重点プロジェクト事業業務委託	土肥薫	医学系研究科	3,846,154	補助	名張市		
子宮頚癌ⅠB期-ⅡB期根治手術例における術後放射線治療と術後化学療法の第Ⅲ相ランダム化比較試験	近藤英司	医学系研究科	50,000	補助	静岡県立静岡がんセンター		
抗血栓薬服用患者におけるcnm陽性S. mutans感染と脳内出血発症との関連を検証する多施設共同観察研究（RAMESSES研究）	冨本秀和	医学系研究科	16,922	補助	国立研究開発法人国立循環器病研究センター		
免疫細胞エクソソームの生体応答解析	瀬尾尚宏	医学系研究科	14,000,000	補助	国立研究開発法人科学技術振興機構		
品質の揃ったスフェロイドを低コスト高効率生産する培養足場の実用化研究	武内大輝	医学系研究科	5,300,000	補助	国立研究開発法人科学技術振興機構		
MAGE-A4抗原を発現する切除不能進行・再発腫瘍に対するCAR-T細胞療法の医師主導第I相治験	宮原慶裕	医学系研究科	88,113,560	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
内因性微粒子を介した細胞間情報伝搬経路としてのマクロピノサイトーシスの理解	江口暁子	医学系研究科	4,000,000	補助	国立研究開発法人科学技術振興機構		
腸管自律神経叢の術中可視化を標的としたヒルシュスプルング病の外科治療開発	溝口明	医学系研究科	49,090,000	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
成人T細胞白血病/リンパ腫に対するHTLV-1p40Tax特異的T細胞受容体遺伝子導入アロγδ-T細胞輸注療法の研究開発	藤原弘	医学系研究科	36,200,000	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
AYA世代難治性固形がんに対する新規GD2特異的CAR-T療法の研究開発	藤原弘	医学系研究科	47,172,308	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
小児・AYA世代の難治性固形がんに対する遺伝子改変T細胞輸注療法の探索	藤原弘	医学系研究科	15,000,000	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
医薬品等の安全性評価に用いる動物試験代替法の開発、評価及び標準化に関する研究	田中利男	医学系研究科	1,000,000	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
?AFPrevisited”-AFP陽性肝細胞の発現シグネチャーを標的とした新規肝再生・発癌抑止療法の開発-	中川勇人	医学系研究科	20,930,000	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
再発小児急性リンパ性白血病の標準治療確立を目的とした第III相国際共同臨床試験	豊田秀実	医学系研究科	7,950,000	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
小児AYA世代再発難治急性リンパ性白血病における標準治療確立を目的としたレジストリ研究	豊田秀実	医学系研究科	1,060,000	補助	国立研究開発法人日本医療研究開発機構		
分子基盤に基づく難治性リンパ系腫瘍の診断及び治療法の開発と標準治療確立のための多施設共同研究	山口素子	医学系研究科	1,500,000	補助	国立研究開発法人国立がん研究センター		
肥大型心筋症患者における診療の実態調査および突然死／拡張相への移行に関する新規予測プログラムの開発とその検証	土肥薫	医学系研究科	300,000	補助	国立研究開発法人国立循環器病研究センター		
抗インターロイキン-6受容体抗体のドラッグリポジショニングで心筋炎症を抑制する、周産期心筋症の新規治療法の開発と治験の準備	池田智明	医学系研究科	1,000,000	補助	国立研究開発法人国立循環器病研究センター		
癌合併の下腿限局型深部静脈血栓症に対する最適な抗凝固療法の投与期間を検証する研究(ONCODVT)	伊藤正明	医学系研究科	1,057,693	補助	国立大学法人京都大学		
難治性がんを標的とした先端的がん特異的抗体創製基盤技術開発とその医療応用	宮原慶裕	医学系研究科	2,300,000	補助	国立大学法人東北大学		
ダウン症合併骨髄性白血病に対する標準的治療法の確立	岩本彰太郎	医学系研究科	1,000,000	補助	国立大学法人滋賀医科大学		

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元			
ヒアルロン酸ナノゲルによるポリペプチドの可溶化・生体内輸送機能解析とワクチンへの応用	宮原慶裕	医学系研究科	3,750,000	補	委	旭化成株式会社	
繰返し入院する慢性心不全患者を対象としたASV療法の予後に関する前向きコホート研究	土肥薫	医学系研究科	50,767	補	委	公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター	
特定非営利活動法人　日本脳神経血管内治療学会データベースを用いた観察研究（Pipeline）	當麻直樹	医学系研究科	53,844	補	委	日本脳神経血管内治療学会	
特定非営利活動法人　日本脳神経血管内治療学会データベースを用いた観察研究（パルスライダー）	當麻直樹	医学系研究科	23,076	補	委	日本脳神経血管内治療学会	
国際重症喘息登録International Severe Asthma Registry（ISAR）	小林哲	医学系研究科	123,249	補	委	一般社団法人近畿・北陸気道疾患研究会	
クライオ電子顕微鏡によるタンパク質等構造解析と細胞内微細構造観察の支援～生命科学・創薬研究・国際的人材育成への貢献	谷一寿	医学系研究科	5,000,000	補	委	学校法人沖縄科学技術大学院大学学園	
母子感染のリスク評価と先天性感染の新たな診断・予防法の開発研究	池田智明	医学系研究科	800,000	補	委	学校法人日本大学	
T細胞受容体発現の改善、RS相談、医師主導治験準備	藤原弘	医学系研究科	1,500,000	補	委	学校法人自治医科大学	
ロメリジン塩酸塩によるCADASIL患者に対する脳虚血イベント再発抑制	冨本秀和	医学系研究科	400,000	補	委	公立大学法人京都府立大学	
Registry of contemporary medical management of chronic heart failure with non-reduced ejection fraction in Japan -The PARACLETE study -	土肥薫	医学系研究科	33,848	補	委	公立大学法人奈良県立医科大学	
新生児マススクリーニング対象疾患拡大に関する観察研究	平山雅浩	医学系研究科	100,000	補	委	一般社団法人東海マススクリーニング推進協会	
令和4年度予防のための子どもの死亡検証体制整備モデル事業業務委託	平山雅浩	医学系研究科	7,569,108	補	委	三重県	小計
令和4年度産婦人科・小児科専門医確保対策事業委託	平山雅浩	医学系研究科	233,057	補	委	三重県	328,422,811　45

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元 又は委 託元

（注）

1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申 請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、〇印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

（様式第3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の特定機能病院における所属	題名	雑誌名・出版年月等	論文種別
1	Imai Y.	皮膚科	ILC2s in skin disorders	Allergol Int. 2023 Apr;72(2):201-206.	Review
2	Tanaka K, Umeda Y, Nakagawa H.	消化器・肝臓内科	Juvenile Polyposis of the Stomach	Am J Gastroenterol. 2023 Jan 1;118(1):16.	Original Article
3	Nakao M, Nanba Y, Okumura A, et al.	産科婦人科	Fetal heart rate evolution and brain imaging findings in preterm infants with	Am J Obstet Gynecol. 2023 May;228(5):583.e1-583.e14.	Original Article
4	Ota A, Ota I, Kachi S, et al.	眼科	Findings in pseudophakic eye that developed liquefied	Am J Ophthalmol Case Rep. 2022 Jun 11;27:101615.	Case Reports
5	Shiono A, Bonno M, Toyoda H, et al.	小児科	Autonomic Nervous System in Preterm Very Low Birth Weight Neonates	Am J Perinatol. 2022 Sep 23.	Original Article
6	Oshita H, Sawada H, Mitani Y, et al.	小児科	Perinatal hypoxia aggravates occlusive pulmonary vasculopathy in	Am J Physiol Lung Cell Mol Physiol. 2022 Aug 1;323(2):L178-L192.	Original Article
7	Fujimoto H, D'Alessandro-Gabazza CN, Yasuma T, et al.	呼吸器内科	The Need for a CYFRA 21-1 Cutoff Value to Predict Clinical Progression	Am J Respir Crit Care Med. 2022 Sep 1;206(5):648-649.	Others
8	Nishimura A, Nakazora S, Senga Y, et al.	整形外科	Anatomic Features of Patients With Recurrent Peroneal Tendon Dislocation	Am J Sports Med. 2023 Apr;51(5):1312-1318.	Original Article
9	Nishida K, Kobayashi M, Ishigami E, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	High-dose IgG suppresses local inflammation and facilitates functional	Ann Clin Transl Neurol. 2022 Jun;9(6):770-777.	Original Article
10	Kaluba B, Kuriyama N, Ito T, et al.	肝胆膵・移植外科	Inverted Y-shaped technique for complex superior mesenteric / portal	Ann Gastroenterol Surg. 2023 Feb 20;7(4):684-690.	Case Reports
11	Gyoten K, Mizuno S, Nagata M, et al.	肝胆膵・移植外科	Concomitant splenic artery ligation has no preventive effect on left-sided portal	Ann Gastroenterol Surg. 2022 Feb 10;6(3):420-429.	Original Article
12	Yamamoto A, Toiyama Y, Ikeuchi H, et al.	消化管・小児外科	Oncological outcomes of Crohn's disease-associated cancers focusing on	Ann Gastroenterol Surg. 2023 Jan 18;7(4):615-625.	Original Article
13	Tomita Y, Ichikawa Y, Sakuma H.	放射線科	Shine-through artifact due to high-radioactivity bladder and bowel gas in	Ann Nucl Med. 2022 Aug;36(8):736-745.	Original Article
14	Oya T, Ichikawa Y, Nakamura S, et al.	放射線科	Quantitative assessment of (99m)Tc-methylene diphosphonate bone	Ann Nucl Med. 2023 Jun;37(6):360-370.	Original Article
15	Ishitobi M, Shien T.	乳腺外科	ASO Author Reflections: Is Nipple-Areolar Recurrence After	Ann Surg Oncol. 2023 Mar;30(3):1687-1688.	Others

16	Yamaguchi A, Ishitobi M, Nagura N, et al.	乳腺外科	Classification of Local Recurrence After Nipple-Sparing Mastectomy Based	Ann Surg Oncol. 2023 Mar;30(3):1678-1686.	Original Article
17	Ouchi T, Kato N, Kato H, et al.	放射線科	Utility of Psoas Muscle Area in Selecting Older Patients Feasible for	Ann Thorac Surg. 2022 Sep;114(3):750-756.	Original Article
18	Ouchi T, Kato N, Sakuma H.	放射線科	Relevance of Residual Dissection After Thoracotomy to Development of	Ann Thorac Surg. 2023 Mar;115(3):795.	Others
19	Ito H, Ogihara Y, Ishida M, et al.	循環器・腎臓内科	Assessment of Pseudocoarctation of the Aorta with Saccular Aneurysms	Ann Vasc Dis. 2022 Dec 25;15(4):348-351.	Original Article
20	Kato H, Hagihara M, Kato M, et al.	薬剤部	A Retrospective Study on the Effectiveness and Safety of	Antibiotics (Basel). 2022 May 25;11(6):710.	Original Article
21	Kato H, Hagihara M, Morikawa Y, et al.	薬剤部	Retrospective Comparison of the Effectiveness and Safety of Ceftriaxone	Antibiotics (Basel). 2022 Jul 22;11(8):983.	Original Article
22	Kato H, Hagihara M, Asai N, et al.	薬剤部	Efficacy of Trimethoprim-Sulfamethoxazole in Combination with an	Antibiotics (Basel). 2022 May 26;11(6):719.	Original Article
23	Kato H, Hagihara M, Asai N, et al.	薬剤部	Comparison between Ceftriaxone and Sulbactam-Ampicillin as Initial Treatment	Antibiotics (Basel). 2022 Sep 22;11(10):1291.	Original Article
24	Ushida K, Shimizu A, Hori S, et al.	リハビリテーション科	Hospital Frailty Risk Score Predicts Outcomes in Chronic Obstructive	Arch Gerontol Geriatr. 2022 May-Jun;100:104658.	Original Article
25	Ushida K, Shimizu A, Hori S, et al.	リハビリテーション科	Corrigendum to 'Hospital Frailty Risk Score Predicts Outcomes in Chronic	Arch Gerontol Geriatr. 2022 Jul 21;103:104780.	Others
26	Nishimura A, Nakazora S, Senga Y, et al.	整形外科	Knotless Tendoscopic Peroneal Retinaculum Repair	Arthrosc Tech. 2022 Jul 14;11(8):e1395-e1401.	Original Article
27	Kato T, Enokiya T, Morikawa Y, et al.	臨床工学部	Sequestration of Antimicrobial Agents in Xcoating and Heparin-Coated	ASAIO J. 2023 Jan 1;69(1):e23-e27.	Original Article
28	Kawaguchi K, Ito A, Kaneda S, et al.	心臓血管外科	Two different methods of bronchial dissection and coverage in robotic	Asian J Endosc Surg. 2023 Jan;16(1):147-151.	Case Reports
29	Okada M.	精神科神経科	Is an increase in Japan's suicides caused by COVID-19 alone?	Asian J Psychiatr. 2022 Dec;78:103320.	Original Article
30	Matsumoto R, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	Fluctuation of suicide mortality and temporal causality from unemployment	Asian J Psychiatr. 2023 Jun;84:103574.	Original Article
31	Ito Y, Murata M, Taku O, et al.	精神科神経科	Developed catatonia with rhabdomyolysis and exacerbated cardiac failure upon	Asian J Psychiatr. 2023 Feb;80:103376.	Case Reports
32	Shiraishi M, Sowa Y, Inafuku N.	形成外科	Long-term survey of sexual well-being after breast reconstruction using	Asian J Surg. 2023 Jan;46(1):150-155.	Original Article

33	Takegami N, Akeda K, Yamada J, et al.	整形外科	Incidence and Characteristics of Clinical L5-S1 Adjacent Segment	Asian Spine J. 2023 Feb;17(1):109-117.	Original Article
34	Hirai T, Shiraishi C, Nakai S, et al.	薬剤部	Population kinetic-pharmacodynamic analysis of serum potassium in patients	Basic Clin Pharmacol Toxicol. 2022 Nov;131(5):380-391.	Original Article
35	Fukuyama K, Okada M.	精神科神経科	High frequency oscillations play important roles in development of	Biomed Pharmacother. 2022 May;149:112846.	Original Article
36	Fukuyama K, Motomura E, Shiroyama T, et al.	精神科神経科	Impact of 5-HT7 receptor inverse agonism of lurasidone on	Biomed Pharmacother. 2022 Apr;148:112750.	Original Article
37	Hirai T, Shinogi Y, Ikejiri M, et al.	薬剤部	Evaluation of bleeding and anticoagulation markers by edoxaban	Biopharm Drug Dispos. 2022 Oct;43(5):192-200.	Original Article
38	Nakao M, Nanba Y, Okumura A, et al.	産科婦人科	Correlation between fetal heart rate evolution patterns and magnetic	BJOG. 2022 Aug;129(9):1574-1582.	Original Article
39	Sasaki T, Ebara S, Tatenuma T, et al.	腎泌尿器外科	Prognostic differences among Grade Group 4 subgroups in robotic-	BJUI Compass. 2022 Jun 2;3(5):392-399.	Original Article
40	Asanuma K, Nakamura T, Okamoto T, et al.	整形外科	Do coagulation or fibrinolysis reflect the disease condition in patients with soft	BMC Cancer. 2022 Oct 18;22(1):1075.	Original Article
41	Shigefuku R, Takahashi H, Watanabe T, et al.	消化器・肝臓内科	Effects of endoscopic injection sclerotherapy for esophagogastric	BMC Gastroenterol. 2022 Jul 21;22(1):350.	Original Article
42	Hasegawa M, Naito Y, Tone S, et al.	整形外科	Accuracy of a novel accelerometer-based navigation (Naviswiss) for total	BMC Musculoskelet Disord. 2022 Jun 4;23(1):537.	Original Article
43	Maeda K, Kuriyama N, Yuge T, et al.	肝胆膵・移植外科	Risk factor analysis of postoperative pancreatic fistula after distal	BMC Surg. 2022 Jun 22;22(1):240.	Original Article
44	Maki S, Tanaka H, Takakura S, et al.	産科婦人科	Tadalafil treatment for fetuses with early-onset growth restriction: a	BMJ Open. 2022 Jun 14;12(6):e054925.	Original Article
45	Matsuyama Y, Nakamura T, Yoshida K, et al.	整形外科	Radiodynamic therapy with acridine orange local administration as a	Bone Joint Res. 2022 Oct;11(10):715-722.	Original Article
46	Hirai T, Morikawa Y, Onishi R, et al.	薬剤部	Impact of glycaemic control and CYP3A5 polymorphisms on tacrolimus trough	Br J Clin Pharmacol. 2023 Jun;89(6):1852-1861.	Original Article
47	Sato T, Miura Y, Yasuda R, et al.	脳神経外科	Vertebral artery dissecting aneurysm rupture under severe COVID-19	Brain Hemorrhages. 2022 Dec;3(4):210-213.	Case Reports
48	Sato T, Miura Y, Yasuda R, et al.	脳神経外科	Response to the Letter regarding article, "Vertebral artery dissecting	Brain Hemorrhages. 2022 Dec;3(4):216-217.	Original Article
49	Shiraishi M, Sowa Y, Tsuge I, et al.	形成外科	Risk factors associated with chronic pain after mastectomy: a	Breast Cancer. 2022 Nov;29(6):1133-1139.	Original Article

50	Yamakado R, Ishitobi M, Kondo N, et al.	乳腺外科	Physicians' perception about the impact of breast reconstruction on	Breast Cancer. 2023 Mar;30(2):302-308.	Original Article
51	Taniguchi A, Toyomasu Y, Takada A, et al.	放射線科	Intra-arterial chemoradiotherapy for locally advanced buccal mucosal	Cancer Rep (Hoboken). 2022 Sep;5(9):e1629.	Case Reports
52	Miyazaki K, Sakai R, Iwaki N, et al.	血液内科	Five-year follow-up of a phase II study of DA-EPOCH-R with high-dose MTX in	Cancer Sci. 2023 Jun;114(6):2689-2691.	Case Reports
53	Tanaka F, Umino M, Maeda M, et al.	放射線科	Pseudocontinuous Arterial Spin Labeling: Clinical Applications and	Cancers (Basel). 2022 Aug 11;14(16):3872.	Review
54	Kondo E, Yoshida K, Kubo-Kaneda M, et al.	産科婦人科	Does Vaginal Cuff Creation and Avoidance of a Uterine Manipulator	Cancers (Basel). 2022 Sep 9;14(18):4389.	Original Article
55	Nakamura T, Hagi T, Asanuma K, et al.	整形外科	Is Lymphocyte C-Reactive Protein Ratio Useful for Predicting Survival in	Cancers (Basel). 2022 Oct 24;14(21):5214.	Original Article
56	Nishimura T, Fujimoto H, Okano T, et al.	呼吸器内科	Is the Efficacy of Adding Ramucirumab to Docetaxel Related to a History of	Cancers (Basel). 2022 Jun 16;14(12):2970.	Original Article
57	Nishimura T, Fujimoto H, Fujiwara T, et al.	呼吸器内科	Efficacy and Safety of Amrubicin in Small Cell Carcinoma Previously Treated	Cancers (Basel). 2022 Aug 16;14(16):3953.	Original Article
58	Ito A, Akama Y, Satoh-Takayama N, et al.	心臓血管外科	Possible Metastatic Stage-Dependent ILC2 Activation Induces Differential	Cancers (Basel). 2022 Jul 4;14(13):3267.	Original Article
59	Enomoto S, Yoshihara K, Kondo E, et al.	産科婦人科	Trends in Pregnancy-Associated Cervical Cancer in Japan	Cancers (Basel). 2022 Jun 23;14(13):3072.	Original Article
60	Mizuno A, Habe K, Matsushima Y, et al.	皮膚科	A Case of Papuloerythroderma Successfully Treated with Dupilumab	Case Rep Dermatol. 2022 May 23;14(2):117-122.	Case Reports
61	Nakanishi M, Kondo M, Habe K, et al.	皮膚科	Diagnostic Utility of TUNEL Staining for Degenerative Keratoacanthoma	Case Rep Dermatol. 2023 Mar 16;15(1):62-66.	Case Reports
62	Sugimoto S, Fuke T, Kobayashi D, et al.	消化器・肝臓内科	Endoscopic Laryngopharyngeal Surgery Combined with Endoscopic	Case Rep Gastroenterol. 2023 Jan 3;17(1):1-13.	Case Reports
63	Furukawa R, Matsubara H, Uchiyama E, et al.	眼科	Case of Repeated Full-Thickness Macular Hole Formations and	Case Rep Ophthalmol. 2022 Nov 18;13(3):981-987.	Case Reports
64	Mori H, Kurita T, Takasaki A, et al.	循環器・腎臓内科	Plaque characterization of a saphenous vein graft by near-infrared	Catheter Cardiovasc Interv. 2023 May;101(6):1071-1073.	Case Reports
65	Nagaharu K, Kojima Y, Hirose H, et al.	血液・腫瘍内科	A bifurcation concept for B-lymphoid/plasmacytoid dendritic cells with	Cell Rep. 2022 Aug 30;40(9):111260.	Original Article
66	Hirota Y, Nakamori S, Imanaka-Yoshida K, et al.	循環器・腎臓内科	Alteration and Recovery of Myocardial Tissue in Late Cardiotoxicity:	Circ Cardiovasc Imaging. 2022 Oct;15(10):e014311.	Original Article

67	Mizutani H, Fujimoto N, Ito H, et al.	循環器・腎臓内科	Prognostic Impact of Peak Aortic Jet Velocity on Patients With Acute	Circ J. 2022 Sep 22;86(10):1539-1546.	Original Article
68	Moriwaki K, Kurita T, Hirota Y, et al.	循環器・腎臓内科	Prognostic Impact of Prehospital Simple Risk Index in Patients With ST-	Circ J. 2023 Apr 25;87(5):629-639.	Original Article
69	Nishimura M, Kondo M, Habe K, et al.	皮膚科	Successful treatment with cyclosporine and guselkumab for	Clin Case Rep. 2022 Oct 7;10(10):e6413.	Case Reports
70	Kondo M, Yamanaka K.	皮膚科	Detection of Cutibacterium acnes from multiple miliary osteoma cutis	Clin Case Rep. 2022 Oct 20;10(10):e6492.	Case Reports
71	Ogura T, Shiraishi C.	臨床研究開発センター	Comparison of Adverse Events Occurred During Administration of	Clin Drug Investig. 2023 Feb;43(2):129-140.	Original Article
72	Sugino Y, Sasaki T, Ebara S, et al.	腎泌尿器外科	Clinical Factors Associated With Pathological Grade Group 1 Patients in	Clin Genitourin Cancer. 2022 Dec;20(6):593-600.	Original Article
73	Gyoten K, Kuriyama N, Hayashi A, et al.	肝胆膵・移植外科	Biliary obstruction caused by plant seeds	Clin J Gastroenterol. 2022 Dec;15(6):1158-1163.	Case Reports
74	Mori M, Katayama K, Joh K, et al.	循環器・腎臓内科	Type VI collagen-related nephropathy	Clin Kidney J. 2022 May 5;16(1):195-196.	Original Article
75	Asami S, Sugimoto M, Tsukitome H, et al.	眼科	Anti-Vascular Endothelial Growth Factor Treatment for Macular Edema in	Clin Ophthalmol. 2022 Jul 15;16:2275-2283.	Original Article
76	Kondo M, Matsushima Y, Nakanishi T, et al.	皮膚科	Increasing Risk of Tick-Borne Disease through Growth Stages in Ticks	Clin Pract. 2023 Feb 6;13(1):246-250.	Original Article
77	Akeda T, Yamanaka K.	皮膚科	Treatment in Patients with Psoriatic Disease and Rheumatoid	Clin Pract. 2023 Jan 28;13(1):177-189.	Case Reports
78	Kondo M, Matsushima Y, Nakanishi T, et al.	皮膚科	Seborrheic Keratosis Caused by Human Papillomavirus Type 20 Ameliorated by	Clin Pract. 2023 Feb 24;13(2):367-371.	Original Article
79	Asanuma K, Nakamura T, Iino T, et al.	整形外科	Macrophages and vimentin in tissues adjacent to megaprostheses and	Commun Integr Biol. 2022 Aug 5;15(1):168-181.	Original Article
80	Yokoyama K, Kaneko T, Ieki Y, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Continuous High Positive-End Expiratory Pressure May Worsen Renal	Cureus. 2023 Feb 20;15(2):e35233.	Original Article
81	Hane A, Ito A, Ishikura K, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Cardiac Arrest Induced by an Anaphylactic Reaction Associated	Cureus. 2022 Jun 26;14(6):e26351.	Case Reports
82	Adachi R, Nakamura T, Asanuma K, et al.	整形外科	Thin Cartilage Cap May Be Related to the Spontaneous Regression in	Curr Oncol. 2022 Dec 15;29(12):9884-9890.	Original Article
83	Hamada Y, Katsurahara M, Umeda Y, et al.	消化器・肝臓内科	Endoscopic resection for a solitary Peutz-Jeghers type polyp in the duodenum: A	DEN Open. 2023 Mar 27;3(1):e226.	Case Reports

84	Matsushima Y, Kitano M, Hayashi D, et al.	皮膚科	A Case of IgG and IgA Anti-Laminin-332 Antibody-Positive Mucous	Dermatopathology (Basel). 2022 Aug 8;9(3):287-291.	Case Reports
85	Inoue K, Nakayama R, Isoshima S, et al.	放射線科	Semiautomated Segmentation and Volume Measurements of	Diagnostics (Basel). 2022 Apr 17;12(4):1014.	Original Article
86	Yamada R, Nakane K, Kadoya N, et al.	消化器・肝臓内科	Development of "Mathematical Technology for Cytopathology," an	Diagnostics (Basel). 2022 May 5;12(5):1149.	Original Article
87	Kurohara K, Shimizu K, Murata T, et al.	歯科口腔外科	Predictive Value of Neutrophil-Lymphocyte Ratio as a Marker in	Diagnostics (Basel). 2022 Jul 29;12(8):1836.	Original Article
88	Wakabayashi H, Nakata K, Nishimura A, et al.	整形外科	The Onset of Subtalar Joint Monoarthritis in a Patient with	Diagnostics (Basel). 2022 Sep 25;12(10):2311.	Case Reports
89	Tamai Y, Iwasa M, Yoshida Y, et al.	消化器・肝臓内科	Development of a New Index to Distinguish Hepatic Encephalopathy	Diagnostics (Basel). 2022 Jun 29;12(7):1584.	Original Article
90	Hamada Y, Tanaka K, Katsurahara M, et al.	消化器・肝臓内科	Factors Related to Difficulty in Endoscopic Submucosal	Dig Dis. 2023;41(4):543-552.	Original Article
91	Kondo M, Fujinami K, Horiguchi M, et al.	眼科	60th annual symposium of the international society for clinical	Doc Ophthalmol. 2023 Mar;146(Suppl 1):1-2.	Others
92	Tamai Y, Eguchi A, Shigefuku R, et al.	消化器・肝臓内科	Association of lithocholic acid with skeletal muscle hypertrophy through	Elife. 2022 Oct 7;11:e80638.	Original Article
93	Ikenoyama Y, Tanaka K, Umeda Y, et al.	消化器・肝臓内科	Effect of adding acetic acid when performing magnifying	Endosc Int Open. 2022 Dec 15;10(12):E1528-E1536.	Original Article
94	Kagawa Y, Okamoto R, Asano Y, et al.	循環器・腎臓内科	Arrhythmogenic right ventricular cardiomyopathy complicating	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2022 Aug 22;23(9):e326.	Original Article
95	Yamaguchi K, Ida M, Nakamori S, et al.	循環器・腎臓内科	Endomyocardial biopsy in a patient with myositis and a negative	Eur Heart J Cardiovasc Imaging. 2022 Aug 22;23(9):e330.	Original Article
96	Hirai T, Ino K, Ikejiri M, et al.	薬剤部	Dual Inhibition of CYP3A4 by Voriconazole and Clarithromycin	Eur J Drug Metab Pharmacokinet. 2022 Nov;47(6):889-893.	Original Article
97	Tamai Y, Iwasa M, Eguchi A, et al.	消化器・肝臓内科	The prognostic role of controlling nutritional status and skeletal muscle mass	Eur J Gastroenterol Hepatol. 2022 Dec 1;34(12):1269-1276.	Original Article
98	Fujimoto H, Yasuma T, D'Alessandro-Gabazza CN, et al.	呼吸器内科	Risk factors for disease progression in fibrotic hypersensitivity	Eur Respir J. 2023 Jan 27;61(1):2201706.	Others
99	Shinohara M, Matsuda K, Ii Y, et al.	脳神経内科	Association between behavioral and psychological symptoms and	Front Aging Neurosci. 2023 Mar 24;15:1143834.	Original Article
100	Taniguchi A, Shindo A, Tabei KI, et al.	脳神経内科	Imaging Characteristics for Predicting Cognitive Impairment in	Front Aging Neurosci. 2022 Jun 10;14:876437.	Original Article

101	Tanaka H, Tanaka K, Takakura S, et al.	産科婦人科	Predicting Preeclampsia Pregnancy Termination Time	Front Med (Lausanne). 2022 Jun 20;9:900639.	Original Article
102	Iwasa M, Eguchi A, Tamai Y, et al.	消化器・肝臓内科	Elevation of enterococcus-specific antibodies associated with	Front Med (Lausanne). 2022 Aug 11;9:982128.	Original Article
103	Sugimoto R, Iwasa M, Eguchi A, et al.	消化器・肝臓内科	Effect of pemafibrate on liver enzymes and shear wave velocity in non-alcoholic fatty	Front Med (Lausanne). 2023 Feb 7;10:1073025.	Original Article
104	Shiraishi M, Sowa Y, Tsuge I, et al.	形成外科	Long-Term Patient Satisfaction and Quality of Life Following Breast	Front Oncol. 2022 May 23;12:815498.	Original Article
105	Asanuma K, Tsujii M, Hagi T, et al.	整形外科	Full-thickness chest wall resection for malignant chest wall tumors and	Front Oncol. 2023 Apr 21;13:1104536.	Original Article
106	Harada T, Toyoda H, Tsuboya N, et al.	小児科	Successful hematopoietic stem cell transplantation for two patients with	Front Pediatr. 2022 Sep 8;10:960126.	Case Reports
107	Aoki Y, Hanaki R, Toyoda H, et al.	小児科	Case report: Thyroid storm in a three-year-old girl presenting with	Front Pediatr. 2023 Jun 16;11:1213040.	Case Reports
108	Matsumoto R, Kawano Y, Motomura E, et al.	精神科神経科	Analyzing the changing relationship between personal consumption and	Front Public Health. 2022 Sep 7;10:982341.	Original Article
109	Hamada Y, Katsurahara M, Tanaka K, et al.	消化器・肝臓内科	An unexpected detection by capsule endoscopy (with video)	Gastrointest Endosc. 2023 Apr;97(4):802-803.	Original Article
110	Hirabayashi Y, Katayama K, Mori M, et al.	循環器・腎臓内科	Mutation Analysis of Thin Basement Membrane Nephropathy	Genes (Basel). 2022 Oct 2;13(10):1779.	Original Article
111	Suzuki Y, Katayama K, Saiki R, et al.	循環器・腎臓内科	Mutation Analysis of Autosomal-Dominant Polycystic Kidney Disease Patients	Genes (Basel). 2023 Feb 9;14(2):443.	Original Article
112	Sugimoto M, Handa C, Hirano K, et al.	眼科	Intravitreal aflibercept for diabetic macular edema in real-world	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2022 Nov;260(11):3489-3498.	Original Article
113	Matsui Y, Imamura K, Ooka M, et al.	眼科	Correction to: Classification of good visual acuity over time in patients with	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2022 Apr;260(4):1433.	Others
114	Sugimoto M, Handa C, Hirano K, et al.	眼科	Correction to: Intravitreal aflibercept for diabetic macular	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2023 Jan;261(1):283-287.	Others
115	Murasaka T, Kato H, Sudo H, et al.	薬剤部	Usefulness of a Drug Information Resources Website (SAGASU-DI)	Healthcare (Basel). 2022 Aug 14;10(8):1541.	Original Article
116	Magawa S, Yanase S, Miyazaki T, et al.	産科婦人科	Relationship between Edinburg Postnatal Depression Scale (EPDS) Scores in the	Healthcare (Basel). 2022 Jul 21;10(7):1350.	Original Article
117	Higashi S, Sasaki T, Uchida K, et al.	腎泌尿器外科	Succinate dehydrogenase B-deficient renal cell carcinoma with a	Hum Genome Var. 2022 Jul 22;9(1):25.	Original Article

118	Matsui K, Uchida K, Kanai M, et al.	病理診断科	A case of primary renal oncocytic tumor: Chromophobe renal cell carcinoma	IJU Case Rep. 2022 Sep 16;6(1):18-21.	Case Reports
119	Kageyama T, Soga N, Sekito S, et al.	腎泌尿器外科	Dramatic response to pembrolizumab after pseudoprogression in	IJU Case Rep. 2022 Aug 2;5(6):442-445.	Case Reports
120	Nakamura K, Ishitobi M, Oshiro C, et al.	乳腺外科	Preferences Regarding Breast Surgery Omission Among Patients With	In Vivo. 2023 Mar-Apr;37(2):794-800.	Original Article
121	Tonto PB, Nagao M, Suga S, et al.	小児科	High prevalence of IgE sensitization to inactivated influenza vaccines, yet robust	Influenza Other Respir Viruses. 2023 Jan;17(1):e13053.	Original Article
122	Yamamoto A, Ieki H, Shimamura M, et al.	消化管・小児外科	Symptom palliation with QUAD Shot radiation therapy to penile metastasis	Int Cancer Conf J. 2023 Mar 30;12(3):210-215.	Original Article
123	Tomida M, Fujimoto N, Moriwaki K, et al.	循環器・腎臓内科	Peripartum Mid-Ventricular-Type Takotsubo Cardiomyopathy	Int Heart J. 2022 Jul 30;63(4):782-785.	Case Reports
124	Moriwaki K, Fujimoto N, Murakami H, et al.	循環器・腎臓内科	Different Types of Myocardial Injury due to the Severe Acute Respiratory	Int Heart J. 2023 Mar 31;64(1):85-89.	Original Article
125	Ishihara M, Nishida Y, Kitano S, et al.	がんセンター	A phase 1 trial of NY-ESO-1-specific TCR-engineered T-cell therapy	Int J Cancer. 2023 Jun 15;152(12):2554-2566.	Original Article
126	Kambayashi S, Kato Y, Hori A, et al.	リハビリテーション科	Mobile cardiac rehabilitation: A feasible alternative for patients with	Int J Cardiol. 2023 Jun 1;380:39.	Others
127	Kato H, Hagihara M, Matsuda H, et al.	薬剤部	Gentamicin Pharmacokinetics and Optimal Dosage in Infant Patients: A	Int J Environ Res Public Health. 2022 Nov 21;19(22):15360.	Review
128	Kawano Y, Matsumoto R, Motomura E, et al.	精神科神経科	Bidirectional Causality between Spreading COVID-19 and Individual	Int J Environ Res Public Health. 2022 Jul 25;19(15):9070.	Original Article
129	Shiraishi C, Kato H, Imai H, et al.	薬剤部	Impact of Extracorporeal Membrane Oxygenation in an	Int J Environ Res Public Health. 2023 Jan 19;20(3):1839.	Case Reports
130	Kato D, Kawachi I, Kondo N.	総合診療科	Complex Multimorbidity and Working beyond Retirement Age in	Int J Environ Res Public Health. 2022 May 27;19(11):6553.	Original Article
131	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	整形外科	Two- and three-dimensional measurements following robotic-	Int J Med Robot. 2022 Dec;18(6):e2455.	Original Article
132	Miura Y, Suzuki H.	脳神経外科	Hypertriglyceridemia and Atherosclerotic Carotid Artery Stenosis	Int J Mol Sci. 2022 Dec 19;23(24):16224.	Review
133	Yamanaka K, Kono Y, Iida S, et al.	皮膚科	The Interplay of Type 1, Type 2, and Type 3 Lymphocytes and Cytokines in	Int J Mol Sci. 2023 Feb 7;24(4):3310.	Original Article
134	Okamoto R.	循環器・腎臓内科	Cardiac Fibrosis: Chronic Inflammatory Disease and Promising	Int J Mol Sci. 2022 Jul 22;23(15):8074.	Others

135	Yuge M, Hori S, Ushida K, et al.	リハビリテーション科	Karaoke as a feasible alternative therapy to pulmonary rehabilitation for	Eur Respir J. 2022 Jun 2;59(6):2103113.	Comment
136	Fukuyama K, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	Therapeutic Potential and Limitation of Serotonin Type 7	Int J Mol Sci. 2023 Jan 20;24(3):2070.	Review
137	Fukuyama K, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	Brexpiprazole Reduces 5-HT7 Receptor Function on Astroglial	Int J Mol Sci. 2022 Jun 12;23(12):6571.	Original Article
138	Fukuyama K, Okada M.	精神科神経科	Brivaracetam and Levetiracetam Suppress Astroglial L-Glutamate Release	Int J Mol Sci. 2022 Apr 19;23(9):4473.	Original Article
139	Suzuki Y, Oinaka H, Nakajima H, et al.	脳神経外科	Plasma Fibulin-5 Levels as an Independent Predictor of a Poor	Int J Mol Sci. 2022 Dec 2;23(23):15184.	Original Article
140	Iida S, Shoji H, Kawakita F, et al.	皮膚科	Inflammatory Skin Disease Causes Anxiety Symptoms Leading to an	Int J Mol Sci. 2023 Mar 21;24(6):5942.	Original Article
141	Okada M, Fukuyama K, Motomura E.	精神科神経科	Dose-Dependent Biphasic Action of Quetiapine on AMPK Signalling via 5-HT7	Int J Mol Sci. 2022 Aug 14;23(16):9103.	Original Article
142	Kawaguchi K, Akeda K, Yamada J, et al.	整形外科	Expression of GADD45G and CAPRIN1 in Human Nucleus Pulposus:	Int J Mol Sci. 2023 Mar 17;24(6):5768.	Original Article
143	Miura Y, Yasuda R, Toma N, et al.	脳神経外科	Non-Fasting Hypertriglyceridemia Burden as a Residual Risk of the	Int J Mol Sci. 2022 Aug 16;23(16):9197.	Original Article
144	Iida S, Nakanishi T, Momose F, et al.	皮膚科	IL-17A Is the Critical Cytokine for Liver and Spleen Amyloidosis in	Int J Mol Sci. 2022 May 20;23(10):5726.	Original Article
145	Nakanishi T, Iida S, Maruyama J, et al.	皮膚科	Arteriosclerosis Derived from Cutaneous Inflammation Is	Int J Mol Sci. 2023 Mar 12;24(6):5434.	Original Article
146	Hashizume R, Matsuda S, Nagai M, et al.	ゲノム診療科	An unusual presentation of chordoma as a pyloric ring	Int J Surg Case Rep. 2022 May;94:107032.	Original Article
147	Sasaki T, Matsumoto R, Higashi S, et al.	腎泌尿器外科	Impact of family history on clinicopathological variables and disease	Int J Urol. 2022 Nov;29(11):1339-1346.	Review
148	Nishikawa K, Masui S, Ishida H.	腎泌尿器外科	Virtual crossmatching and epitope analysis in kidney	Int J Urol. 2023 Jan;30(1):7-19.	Review
149	Kato M.	腎泌尿器外科	Editorial Comment to Tenascin C regulates cancer cell glycolysis and tumor	Int J Urol. 2022 Jun;29(6):585-586.	Others
150	Hamada Y, Tanaka K, Horiki N, et al.	消化器・肝臓内科	Early Uvular Cancer Detected by Esophagogastroduodenoscopy	Intern Med. 2022 Oct 15;61(20):3141-3142.	Original Article
151	Yamawaki M, Katayama K, Fujimoto M, et al.	循環器・腎臓内科	Bullous Pemphigoid in X-linked Alport Syndrome: A Case Report	Intern Med. 2022 Dec 21.	Original Article

152	Suzuki K, Yoshida H, Esumi R, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Esophageal Perforation Accompanying Mediastinitis in Blunt	Intern Med. 2022 Sep 1;61(17):2601-2605.	Case Reports
153	Hamada Y, Umeda Y, Ikenoyama Y, et al.	消化器・肝臓内科	Obscure Gastrointestinal Bleeding Caused by a Small Intestinal	Intern Med. 2023 Feb 1;62(3):387-391.	Review
154	Shiraishi M, Matsuura K, Nishiguchi Y, et al.	脳神経内科	Deep Brain Stimulation in a Patient with Parkinson's Disease	Intern Med. 2022 Nov 1;61(21):3277-3279.	Case Reports
155	Harada T, Hamada Y, Tanaka K, et al.	消化器・肝臓内科	Invasive Colon Cancer Inadvertently Resected by Cold Snare Polypectomy	Intern Med. 2023 Jan 15;62(2):227-231.	Case Reports
156	Yamaguchi T, Hayashi R, Hanaki R, et al.	感染制御部	A Pediatric Case of Septic Pulmonary Embolism Caused by Tsukamurella	Intern Med. 2023 Mar 8.	Original Article
157	Kido K, Yamada R, Maegawa Y, et al.	消化器・肝臓内科	Autoimmune Pancreatitis with Massive Ascites and Multiple Pancreatic	Intern Med. 2023 May 1;62(9):1299-1304.	Case Reports
158	Miyashita K, Ii Y, Matsuyama H, et al.	脳神経内科	Sporadic Myotonic Dystrophy Type 2 in a Japanese Patient: A Case Report	Intern Med. 2023 Feb 15.	Original Article
159	Mizutani A, Shindo A, Tabei KI, et al.	脳神経内科	Identifying and Characterizing People with Dementia Not	Intern Med. 2023 Feb 1;62(3):345-353.	Original Article
160	Saiki R, Murata T, Tsujimoto K, et al.	循環器・腎臓内科	Three Weeks of Treatment Induced Long-term Remission in a	Intern Med. 2023 Jun 1;62(11):1631-1633.	Case Reports
161	Mizutani S, Okunishi Y, Tamada T, et al.	リウマチ・膠原病センター	A Woman with Rheumatoid Arthritis Who Successfully Delivered a Healthy	Intern Med. 2023 Feb 15;62(4):633-636.	Original Article
162	Shigefuku R, Yoshikawa K, Tsukimoto M, et al.	消化器・肝臓内科	Hepatocellular Carcinoma Pseudoprogression Involving the Main	Intern Med. 2023 Feb 15;62(4):539-543.	Case Reports
163	Yamamoto Y, Mitsui A, Noda K, et al.	リウマチ・膠原病センター	Subcutaneous Panniculitis-like T-cell Lymphoma with a HAVCR2 Mutation	Intern Med. 2023 May 15;62(10):1537-1540.	Case Reports
164	Miyabe M.	麻酔科	Genesis of "negative pressure" during hanging drop; the answer is positive	J Anesth. 2022 Jun;36(3):441-443.	Original Article
165	Ogura T, Shiraishi C.	臨床研究開発センター	Parameter estimation of Weibull distribution for the number of days	J Biopharm Stat. 2023 May 4;33(3):386-399.	Original Article
166	Yamada J, Akeda K, Takegami N, et al.	整形外科	Change in prevalence of vertebral fractures over two decades: a Japanese medical	J Bone Miner Metab. 2023 Jan;41(1):124-130.	Original Article
167	Ishiyama M, Kurita T, Takafuji M, et al.	循環器・腎臓内科	The cardiac computed tomography-derived extracellular volume	J Cardiol. 2023 May;81(5):476-484.	Original Article
168	Ogihara Y, Yachi S, Takeyama M, et al.	循環器・腎臓内科	Influence of obesity on incidence of thrombosis and disease severity in	J Cardiol. 2023 Jan;81(1):105-110.	Original Article

169	Nakamura S, Ishida M, Nakata K, et al.	放射線科	Complementary prognostic value of stress perfusion imaging and global	J Cardiovasc Magn Reson. 2023 Mar 16;25(1):20.	Original Article
170	Ishikawa H, Shindo A, Mizutani A, et al.	脳神経内科	A brief overview of a mouse model of cerebral hypoperfusion by	J Cereb Blood Flow Metab. 2023 Mar 8:271678X231154597.	Review
171	Kato Y, Shimizu A, Momosaki R.	リハビリテーション科	Assessment and Management of Frailty	J Clin Med. 2023 Jan 20;12(3):833.	Review
172	Okugawa Y, Kitajima T, Yamamoto A, et al.	ゲノム診療科	Clinical Relevance of Myopenia and Myosteatosis in Colorectal Cancer	J Clin Med. 2022 May 6;11(9):2617.	Review
173	Kato Y, Sakamoto R, Hori A, et al.	リハビリテーション科	Innovation in Digital Health Interventions for Frailty and Sarcopenia	J Clin Med. 2023 Mar 17;12(6):2341.	Others
174	Yamamoto Y, Hori S, Ushida K, et al.	リハビリテーション科	Impact of Frailty Risk on Adverse Outcomes after Traumatic Brain	J Clin Med. 2022 Nov 29;11(23):7064.	Original Article
175	Maeda S, Sugimoto M, Tenma Y, et al.	眼科	Response to Initial Anti-Vascular Endothelial Growth Factor for Diabetic	J Clin Med. 2022 Oct 29;11(21):6416.	Original Article
176	Wakabayashi H, Hasegawa M, Naito Y, et al.	整形外科	Minimum 10-Year Results of Modular Metal-On-Metal Total Hip	J Clin Med. 2022 Nov 2;11(21):6505.	Original Article
177	Nishimura M, Mizutani K, Yokota N, et al.	皮膚科	Treatment Strategy for Pyoderma Gangrenosum: Skin Grafting with	J Clin Med. 2022 Nov 24;11(23):6924.	Case Reports
178	Hori S, Yamamoto Y, Ushida K, et al.	リハビリテーション科	Impact of Frailty Risk on Oral Intake and Length of Hospital Stay in Older	J Clin Med. 2022 Dec 22;12(1):77.	Original Article
179	Matsui Y, Imamura K, Chujo S, et al.	眼科	Which Explanatory Variables Contribute to the Classification of Good Visual	J Clin Med. 2022 Jul 4;11(13):3903.	Original Article
180	Sugimoto M, Sampa K, Tsukitome H, et al.	眼科	Correction: Sugimoto et al. Trends in the Prevalence and Progression of	J Clin Med. 2022 May 16;11(10):2789.	Others
181	Matsushima Y, Mizutani K, Iida S, et al.	皮膚科	Severe skin inflammation leads to salivary gland atrophy and	J Dermatol. 2022 Jun;49(6):642-647.	Original Article
182	Yamanaka K, Okubo Y, Yasuda I, et al.	皮膚科	Efficacy and safety of risankizumab in Japanese patients with generalized	J Dermatol. 2023 Feb;50(2):195-202.	Original Article
183	Kondo M, Matsushima Y, Nakanishi T, et al.	皮膚科	A novel transmission of Aeromonas hydrophila via tick bites	J Dermatol. 2022 Jul;49(7):e243-e245.	Original Article
184	Goto H, Kondo M, Iida S, et al.	皮膚科	Psoriasis-like skin lesions occurring at remote sites after topical imiquimod	J Dermatol. 2022 Oct;49(10):e395-e396.	Original Article
185	Yokota N, Kondo M, Matsushima Y, et al.	皮膚科	Epstein-Barr virus DNA measurement in skin tumor lesions might be a sensitive	J Dermatol. 2023 Mar 20.	Original Article

186	Nagata M, Ichikawa Y, Domae K, et al.	放射線科	Application of Deep Learning-Based Denoising Technique for Radiation Dose	J Digit Imaging. 2023 Mar 21.	Original Article
187	Katsurahara M, Umeda Y, Yukimoto H, et al.	消化器・肝臓内科	Gastrointestinal: Small bowel hemangioma with unusual endoscopic	J Gastroenterol Hepatol. 2023 Feb 7.	Review
188	Mochiki I, Okugawa Y, Hashizume R, et al.	ゲノム診療科	Psychological characteristics of Japanese patients and their family	J Genet Couns. 2023 Feb;32(1):128-139.	Original Article
189	Kato H, Morikawa Y, Hagihara M, et al.	薬剤部	Investigation of in-line filter replacement intervals for infusion	J Hosp Infect. 2023 Apr;134:147-152.	Original Article
190	Xu Y, Feng G, Yano T, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Characteristic genetic spectrum of primary ciliary dyskinesia in	J Hum Genet. 2023 Jul;68(7):455-461.	Original Article
191	Sakaguchi S, Okamoto R, Inoue C, et al.	循環器・腎臓内科	Associated factors and effects of comorbid atrial fibrillation in	J Hum Hypertens. 2022 Sep 24.	Original Article
192	Ishihara M, Kitano S, Kageyama S, et al.	がんセンター	NY-ESO-1-specific redirected T cells with endogenous TCR knockdown	J Immunother Cancer. 2022 Jun;10(6):e003811.	Original Article
193	Nakamura T, Asanuma K, Hagi T, et al.	整形外科	Modified Glasgow Prognostic Score is Better for Predicting Oncological Outcome	J Inflamm Res. 2022 Jul 11;15:3891-3899.	Original Article
194	Tsukimoto M, Sugimoto K, Shigefuku R, et al.	消化器・肝臓内科	Recurrent hepatocellular carcinoma with osteoclast-like giant	J Med Case Rep. 2022 Apr 1;16(1):142.	Case Reports
195	Okumura A, Kondo E, Kubo-Kaneda M, et al.	産科婦人科	Efficacy of minodronic acid for the prevention of osteoporosis in	J Obstet Gynaecol. 2022 Nov;42(8):3591-3599.	Original Article
196	Hirata T, Kondo E, Magawa S, et al.	産科婦人科	Safety and efficacy of levonorgestrel-releasing intrauterine device in the	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Dec;48(12):3219-3225.	Original Article
197	Magawa S, Nii M, Maki S, et al.	産科婦人科	Evaluation of the tolerability of monoclonal antibody therapy for pregnant	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Sep;48(9):2325-2333.	Original Article
198	Magawa S, Nii M, Maki S, et al.	産科婦人科	Comparative study of the usefulness of risk score assessment in the	J Obstet Gynaecol Res. 2022 Nov;48(11):2721-2729.	Original Article
199	Kitaura Y, Nishimura A, Senga Y, et al.	整形外科	Locomotive syndrome affects the acquisition of long-term care insurance	J Orthop Sci. 2022 Dec 26:S0949-2658(22)00332-3.	Original Article
200	Yoshida K, Nakamura T, Nakamura K, et al.	整形外科	The Characteristics of magnetic resonance imaging and	J Orthop Surg (Hong Kong). 2023 Jan-Apr;31(1):10225536231151519.	Original Article
201	Matsuyama Y, Asanuma K, Yoshida K, et al.	整形外科	The role of soluble CD80 in patients with soft tissue tumors	J Orthop Surg Res. 2022 Sep 5;17(1):404.	Original Article
202	Akasaka M, Hirai T, Yoshida K, et al.	薬剤部	Association between cumulative cisplatin dose and reproductive and	J Pharm Health Care Sci. 2022 Nov 17;8(1):33.	Original Article

203	Banda CH, Wilson E, Malata CM, et al.	形成外科	Clinical application and outcomes of reconstructive microsurgery in	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2022 Jul;75(7):2035-2048.	Review
204	Shimada T, Shindo A, Imai H, et al.	リハビリテーション科	Relationship between Neurological Deterioration and Blood	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2022 Jul;31(7):106504.	Original Article
205	Tabei KI, Saji N, Ogama N, et al.	脳神経内科	Quantitative Analysis of White Matter Hyperintensity: Comparison of	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2022 Aug;31(8):106555.	Original Article
206	Asanuma K, Miyamura G, Suzuki Y, et al.	整形外科	New screw technique for posterior column and ischial fixation from the anterior	J Surg Case Rep. 2023 Feb 27;2023(2):rjad073.	Case Reports
207	Nishimura T.	呼吸器内科	What About Palliative and Supportive Care Landscapes?	J Thorac Oncol. 2022 Dec;17(12):e95.	Others
208	Shiraishi M, Kurita M, Narushima M, et al.	形成外科	Formation of bilateral arteriovenous malformations	J Vasc Surg Cases Innov Tech. 2022 Jul 2;8(3):441-442.	Original Article
209	Kasai E, Habe K, Matsushima Y, et al.	皮膚科	Papuloerythroderma of Ofuji associated with sternoclavicular arthritis and	JAAD Case Rep. 2022 Jul 9;27:70-74.	Case Reports
210	Sugioka K, Yokota N, Yamanaka K.	皮膚科	Pachydermoperiostosis complicated with psoriatic arthritis successfully treated	JAAD Case Rep. 2023 Mar 15;35:43-45.	Case Reports
211	Hamada Y, Tanaka K, Horiki N, et al.	消化器・肝臓内科	Negative effect of prolonged cecal intubation time on adenoma detection in	JGH Open. 2023 Jan 24;7(2):128-134.	Original Article
212	Miyazaki K.	血液・腫瘍内科	Management of elderly patients with malignant lymphoma	Jpn J Clin Oncol. 2022 Jul 8;52(7):690-699.	Original Article
213	Araki S, Kitagawa K, Kokawa T, et al.	放射線科	Radiation exposure in cardiac computed tomography imaging in Mie prefecture in	Jpn J Radiol. 2023 Jun;41(6):596-604.	Original Article
214	Danno K, Narushima M, Banda CH, et al.	形成外科	Skin graft fixation with negative pressure wound therapy with	JPRAS Open. 2022 Oct 8;34:152-157.	Case Reports
215	Hasegawa M, Naito Y, Tone S, et al.	整形外科	Correction to: High rates of outliers in computer-assisted high tibial osteotomy	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2023 Feb;31(2):406.	Others
216	Okada M, Matsumoto R, Motomura E, et al.	精神科神経科	Exploring characteristics of increased suicide during the COVID-19	Lancet Reg Health West Pac. 2022 May 30;24:100481.	Original Article
217	Maeda K, Kuriyama N, Ito T, et al.	肝胆膵・移植外科	Safety and benefits of major hepatectomy with extrahepatic bile	Langenbecks Arch Surg. 2022 Nov;407(7):2861-2872.	Original Article
218	Morishita H, Kobayashi M, Uchida K, et al.	耳鼻咽喉・頭頸部外科	Predictors and prognosis of respiratory epithelial adenomatoid	Laryngoscope Investig Otolaryngol. 2022 Sep 20;7(5):1292-1298.	Original Article
219	Nakase K, Tanaka I, Tawara I, et al.	血液・腫瘍内科	CD22 expression in acute myeloid leukemia: close correlation with	Leuk Lymphoma. 2022 Sep;63(9):2251-2253.	Original Article

220	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	整形外科	Ultra-High-Molecular-Weight Polyethylene in Hip and Knee	Materials (Basel). 2023 Mar 7;16(6):2140.	Review
221	Ikenoyama Y, Hamada Y, Katoh D, et al.	消化器・肝臓内科	Rectal Condyloma Acuminatum	Mayo Clin Proc. 2022 Jun;97(6):1156-1157.	Original Article
222	Nakato D, Iwamoto S, Amano K, et al.	小児科	Improved Antitumor Effect of NK Cells Activated by Neutrophils in a Bone	Mediators Inflamm. 2023 Jan 31;2023:6316581.	Original Article
223	Enomoto H, Sugimoto M, Asami S, et al.	眼科	Progress of Diabetic Macular Edema after Loading Injection of Anti-Vascular	Medicina (Kaunas). 2022 Sep 21;58(10):1318.	Original Article
224	Akeda K, Fujiwara T, Takegami N, et al.	整形外科	Retrospective Analysis of Factors Associated with the Treatment Outcomes	Medicina (Kaunas). 2023 Mar 23;59(4):640.	Original Article
225	Iino T, Tsujii M, Wakabayashi T, et al.	整形外科	Expression and distribution pattern of aggrecanases and miR-140s in the	Medicine (Baltimore). 2022 Aug 12;101(32):e29583.	Original Article
226	Ikejiri K, Goto H, Usui M, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Septic pulmonary embolism and subsequent bilateral pneumothorax in	Medicine (Baltimore). 2022 Nov 11;101(45):e31755.	Review
227	Iwamoto T, Nishikawa K.	薬剤部	Monitoring of blood immunosuppressant concentrations and lymphocyte	Medicine (Baltimore). 2022 Nov 18;101(46):e31783.	Original Article
228	Mase Y, Kubo A, Matsumoto A, et al.	眼科	Posterior scleritis with choroidal detachments and periaortitis	Medicine (Baltimore). 2022 Jul 22;101(29):e29611.	Case Reports
229	Umeda Y, Tanaka K, Ikenoyama Y, et al.	消化器・肝臓内科	The usefulness of image-enhanced endoscopy to distinguish gastric	Medicine (Baltimore). 2023 Feb 10;102(6):e32881.	Original Article
230	Mizohata H, Ikesugi K, Kondo M.	眼科	Frequent self-monitoring of intraocular pressure can determine	Medicine (Baltimore). 2022 Dec 30;101(52):e32478.	Case Reports
231	Harada S, Kato K, Matsui Y, et al.	眼科	Multiple evanescent white dot syndrome in highly myopic eye in which fundus	Medicine (Baltimore). 2023 Feb 3;102(5):e32713.	Case Reports
232	Mizumoto K, Kato K, Fujinami K, et al.	眼科	A Japanese boy with Bardet-Biedl syndrome caused by a novel homozygous	Medicine (Baltimore). 2022 Dec 16;101(50):e32161.	Case Reports
233	Mitsui K, Narushima M, Danno K, et al.	形成外科	Intra-lymphocele microsurgical identification of causative afferent	Microsurgery. 2022 Dec 26.	Case Reports
234	Hasegawa M, Tone S, Naito Y, et al.	整形外科	Predicting outcomes after total knee arthroplasty using intraoperative knee	Mod Rheumatol. 2022 Oct 20:roac130.	Original Article
235	Motomura E, Inui K, Nakayama Y, et al.	精神科神経科	Neural oscillations accompanying 14-Hz positive spikes: A case report	Neurophysiol Clin. 2023 Feb;53(1):102885.	Original Article
236	Nakajima H, Kawakita F, Oinaka H, et al.	脳神経外科	Plasma SPARC Elevation in Delayed Cerebral Ischemia After Aneurysmal	Neurotherapeutics. 2023 Apr;20(3):779-788.	Original Article

237	Higashigawa T, Ichikawa Y, Chino S, et al.	放射線科	Usefulness of 18F-FDG PET/computed tomography in differentiating	Nucl Med Commun. 2022 Jul 1;43(7):794-799.	Original Article
238	Fukuyama K, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	A Candidate Gliotransmitter, L-β-Aminoisobutyrate, Contributes to	Nutrients. 2023 Mar 27;15(7):1621.	Original Article
239	Shirai Y, Momosaki R, Kokura Y, et al.	リハビリテーション科	Validation of Asian Body Mass Index Cutoff Values for the Classification of	Nutrients. 2022 Nov 10;14(22):4746.	Original Article
240	Kato K, Nagashima R, Matsubara H, et al.	眼科	Transient Increase of Flicker Electroretinography Amplitudes after	Ophthalmol Sci. 2022 Nov 4;3(1):100243.	Original Article
241	Yamasaki T, Beroukhim R, Sanders SP, et al.	心臓血管外科	Tricuspid Valve Blood Cysts Mimicking Thrombus or Vegetation on	Pediatr Cardiol. 2023 Jan;44(1):245-248.	Original Article
242	Matsushita K, Uchida K, Koike Y, et al.	消化管・小児外科	Lymphoma of the colon in a 5-year-old female with ulcerative colitis	Pediatr Int. 2023 Jan;65(1):e15468.	Case Reports
243	Kogue Y, Kobayashi H, Nakamura Y, et al.	呼吸器内科	Prognostic Value of CXCL12 in Non-Small Cell Lung Cancer Patients	Pharmaceuticals (Basel). 2023 Feb 7;16(2):255.	Original Article
244	Hashizume K, Ichikawa Y, Tomita Y, et al.	放射線科	Impact of CT tube-voltage and bone density on the quantitative	Phys Med. 2022 Dec;104:18-22.	Original Article
245	Magawa S, Nii M, Enomoto N, et al.	産科婦人科	Evaluation of placental oxygenation in fetal growth restriction	Placenta. 2022 Aug;126:40-45.	Original Article
246	Okada Y, Narushima M, Banda CH, et al.	形成外科	Accelerated Cranioplasty with Perforator-preserved Split Flap	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2022 Apr 8;10(4):e4234.	Case Reports
247	Ito H, Sugimoto T, Ogihara Y, et al.	循環器・腎臓内科	Clinical characteristics and the risk of hospitalization of	PLoS One. 2023 Jan 17;18(1):e0280291.	Original Article
248	Murata Y, Ogura T, Hayasaki A, et al.	肝胆膵・移植外科	Predictive risk factors for early recurrence in patients with	PLoS One. 2022 Apr 4;17(4):e0264573.	Original Article
249	Takegami N, Akeda K, Yamada J, et al.	整形外科	Localization diagnosis of low back pain in a population-based study of a	PLoS One. 2023 Feb 23;18(2):e0282115.	Original Article
250	Yamada J, Akeda K, Takegami N, et al.	整形外科	Novel elemental grading system for radiographic lumbar spondylosis in a	PLoS One. 2022 Jun 28;17(6):e0270282.	Original Article
251	Kato Y, Shiotani M, Sugita M, et al.	リハビリテーション科	Strategies to enable physical activity in individuals with traumatic brain injury	PM R. 2023 Feb;15(2):248-249.	Others
252	Taniguchi A, Ichikawa Y, Maeda M, et al.	脳神経内科	Chronic recurrent multifocal osteomyelitis mimicking migraine	Pract Neurol. 2023 Feb;23(1):88-90.	Original Article
253	Sasaki T, Yoshikawa Y, Kageyama T, et al.	腎泌尿器外科	Prostate fibroblasts enhance androgen receptor splice variant 7 expression	Prostate. 2023 Mar;83(4):364-375.	Original Article

254	Motomura E, Tanii H, Kawano Y, et al.	精神科神経科	Catechol-O-methyltransferase (COMT) Val158Met Polymorphism and	Psychiatry Res Neuroimaging. 2022 Jul;323:111484.	Original Article
255	Motomura E, Tanii H, Kawano Y, et al.	精神科神経科	Corrigendum to ' Catechol-O-methyltransferase (COMT) Val158Met	Psychiatry Res Neuroimaging. 2023 Apr;330:111599.	Others
256	Hamada Y, Horiki N, Nakagawa H.	消化器・肝臓内科	Carbon dioxide narcosis after an endoscopic procedure in a	QJM. 2022 Nov 14;115(11):765-766.	Original Article
257	Aoki Y, Maeda M, Kishi S, et al.	放射線科	Central nervous system involvement of systemic ALK-positive histiocytosis	Radiol Case Rep. 2022 Aug 10;17(10):3867-3870.	Case Reports
258	Fukui H, Fujimori M, Yamanaka T, et al.	放射線科	Cryptococcus granuloma mimicking local progressed tumor after	Radiol Case Rep. 2022 Jul 22;17(9):3419-3424.	Case Reports
259	Takada A, Ichikawa Y, Nakamura S, et al.	放射線科	Preliminary results of reduced myocardial blood flow in the subacute phase after	Radiother Oncol. 2022 Dec;177:191-196.	Original Article
260	Takeuchi H, Yamamoto M, Fukui M, et al.	産科婦人科	Single-cell profiling of transcriptomic changes during in vitro maturation of	Reprod Med Biol. 2022 May 9;21(1):e12464.	Original Article
261	Kabwe JC, Sawada H, Mitani Y, et al.	麻酔科	CRISPR-mediated Bmpr2 point mutation exacerbates late	Respir Res. 2022 Apr 8;23(1):87.	Original Article
262	Fukuyama K, Motomura E, Okada M.	精神科神経科	Opposing effects of clozapine and brexpiprazole on β-aminoisobutyric acid:	Schizophrenia (Heidelb). 2023 Feb 8;9(1):8.	Original Article
263	Tone S, Hasegawa M, Naito Y, et al.	整形外科	Comparison between two- and three-dimensional methods for offset	Sci Rep. 2022 Jul 25;12(1):12644.	Original Article
264	Hamada Y, Tanaka K, Katsurahara M, et al.	消化器・肝臓内科	Propensity-score matched analysis to evaluate efficacy of endoscopic	Sci Rep. 2022 Jul 1;12(1):11142.	Original Article
265	Yokoyama K, Kaneko T, Ito A, et al.	救命救急・総合集中治療センター	Sequential organ failure assessment score as a predictor of the outcomes of	Sci Rep. 2022 Sep 30;12(1):16373.	Original Article
266	Tanaka F, Umino M, Maeda M, et al.	放射線科	Author Correction: Tumor blood flow and apparent diffusion coefficient histogram	Sci Rep. 2022 Jul 28;12(1):12923.	Others
267	Tanaka F, Umino M, Maeda M, et al.	放射線科	Tumor blood flow and apparent diffusion coefficient histogram analysis for	Sci Rep. 2022 Apr 8;12(1):5947.	Original Article
268	Ushida K, Yamamoto Y, Hori S, et al.	リハビリテーション科	The effect of preoperative rehabilitation on the prevention of	Support Care Cancer. 2023 Jan 19;31(2):123.	Original Article
269	Nakamura S, Murata Y, Uchida K, et al.	肝胆膵・移植外科	Microcystic serous cystadenoma mimicking pancreatic neuroendocrine	Surg Case Rep. 2022 Sep 30;8(1):188.	Original Article
270	Miura H, Tanaka K, Umeda Y, et al.	消化器・肝臓内科	Usefulness of magnifying endoscopy with acetic acid and	Surg Endosc. 2022 Nov;36(11):8086-8095.	Original Article

271	Tanemura A, Mizuno S, Maeda K, et al.	肝胆膵・移植外科	Resection type is a predictor of postoperative complications in	Surg Endosc. 2022 Dec;36(12):9054-9063.	Original Article
272	Inoue M, Uchida K, Nagano Y, et al.	消化管・小児外科	Preoperative myopenia and myosteatosis and their impact on	Surg Today. 2023 Apr;53(4):483-489.	Original Article
273	Kimoto M, Ishitobi M, Imai N, et al.	乳腺外科	Long-term course of the changes in the nipple position after breast-conserving	Surg Today. 2023 Jan;53(1):52-61.	Original Article
274	Shiraishi M, Sowa Y, Tsuge I, et al.	形成外科	Characteristics and distribution of chronic pain after mastectomy and	Surg Today. 2023 Mar 31.	Original Article
275	Kuriyama N, Maeda K, Shinkai T, et al.	肝胆膵・移植外科	Anterior versus posterior radical antegrade modular pancreatosplenectom	Surg Today. 2023 Mar 21.	Original Article
276	Tanemura A, Hayashi A, Maeda K, et al.	肝胆膵・移植外科	Surgical outcomes of the Frey procedure for chronic pancreatitis:	Surg Today. 2023 Feb 9.	Original Article
277	Toyomasu Y, Matsui K, Omori K, et al.	放射線科	Tenascin C in radiation-induced lung damage: Pathological	Thorac Cancer. 2022 Oct;13(20):2904-2907.	Case Reports
278	Nishimura T, Fujiwara T, Fujimoto H, et al.	呼吸器内科	Next-generation sequencing clarified why first-line treatment with	Thorac Cancer. 2023 Mar;14(7):709-713.	Case Reports
279	Suzuki K, Nagaharu K, Maruyama M, et al.	血液・腫瘍内科	The experience of flow cytometry for specific antibody against cisplatin-	Transfusion. 2023 Apr;63(4):867-871.	Case Reports
280	Suzuki H, Miura Y, Yasuda R, et al.	脳神経外科	Effects of New-Generation Antiepileptic Drug Prophylaxis on	Transl Stroke Res. 2022 Nov 5.	Original Article
281	Suzuki H.	脳神経外科	How to Promote Hemoglobin Scavenging or Clearance and	Transl Stroke Res. 2022 Aug 9.	Original Article
282	Kawakita F, Nakano F, Kanamaru H, et al.	脳神経外科	Anti-Apoptotic Effects of AMPA Receptor Antagonist Perampanel in Early	Transl Stroke Res. 2023 Feb 9.	Original Article
283	Tsuji M, Ishida F, Suzuki H.	脳神経外科	Letter to the Relationship of Morphological-Hemodynamic	Transl Stroke Res. 2023 Apr;14(2):117-118.	Letter
284	Kondo M, Nishikawa K, Iida S, et al.	皮膚科	Japanese Spotted Fever and Irreversible Renal Dysfunction during	Trop Med Infect Dis. 2022 Aug 10;7(8):175.	Case Reports
285	Kondo M, Matsushima Y, Nakanishi T, et al.	皮膚科	Epidemiological study of ticks harbouring Aeromonas hydrophila in areas	Trop Med Int Health. 2023 Feb;28(2):151-156.	Original Article
286	Miura Y, Toma N, Ichikawa T, et al.	脳神経外科	A Unique Technique to Adjust Snare Position for Coil Retrieval in Tortuous	World Neurosurg. 2023 May;173:263-267.	Case Reports
287	Yamakawa D, Tsuboi J, Kasahara K, et al.	生化学	Cilia-Mediated Insulin/Akt and ST2/JNK Signaling Pathways Regulate	Adv Sci (Weinh). 2022 Nov 14;10(1):e2202632.	Original Article

288	Park EJ, Yadav H, Singh TP.	分子病態学	Editorial: Microbiota in skin inflammatory diseases	Front Immunol. 2023 Jun 15;14:1235314.	Others
289	Mizutani M, Nishide R, Tanimura S, et al.	看護学	Protective and high-risk social activities associated with homebound status	Prev Med Rep. 2022 Nov 2;30:102037.	Original Article
290	Okumura S, Ishihara M, Kiyota N, et al.	個別化がん免疫治療学	Chimeric antigen receptor T-cell therapy targeting a MAGE A4 peptide	BMJ Open. 2022 Nov 14;12(11):e065109.	Original Article
291	Eguchi A, Iwasa M, Nakagawa H.	消化器・肝臓内科	Extracellular vesicles in fatty liver disease and steatohepatitis: Role as biomarkers	Liver Int. 2023 Feb;43(2):292-298.	Review
292	Eguchi A, Iwasa M, Sugimoto R, et al.	消化器・肝臓内科	Complement complex 1 subunit q-mediated hepatic stellate cell activation with	Hepatol Commun. 2022 Dec;6(12):3515-3527.	Original Article
293	Wakai E, Ikemura K, Mizuno T, et al.	統合薬理学	Repositioning of Lansoprazole as a Protective Agent Against Cisplatin-	Front Pharmacol. 2022 Jul 15;13:896760.	Original Article
294	Eguchi A, Iwasa M, Tamai Y, et al.	消化器・肝臓内科	The prognostic potential of fragmented CK18 serum levels in HCC	Front Oncol. 2022 Aug 23;12:993705.	Original Article
295	Yuda M, Kaneko I, Murata Y, et al.	医動物・感染医学	Plasmodium 6-cysteine proteins determine the commitment of	Parasitol Int. 2023 Apr;93:102700.	Original Article
296	Tanaka H, Nusselder WJ, Kobayashi Y, et al.	公衆衛生・産業医学	Socioeconomic inequalities in self-rated health in Japan, 32 European	Scand J Public Health. 2022 May 10:14034948221092285.	Original Article
297	D'Alessandro VF, Takeshita A, Yasuma T, et al.	免疫学	Transforming Growth Factor β 1 Overexpression Is Associated with	Int J Mol Sci. 2022 Nov 17;23(22):14265.	Original Article
298	Kitajima T, Schüz J, Morita A, et al.	公衆衛生・産業医学	Measurement of Intermediate Frequency Magnetic Fields Generated by	Int J Environ Res Public Health. 2022 Sep 21;19(19):11912.	Original Article
299	Yasuma T, Gabazza EC.	免疫学	Chronic Fibrosis and Its Progression to Cancer	Int J Mol Sci. 2022 Apr 1;23(7):3924.	Others
300	Lin-Aung H, Masumoto D, Linn Z, et al.	医学医療教育学	Students' perception of problem-based learning at a Japanese medical	Int J Med Educ. 2022 Dec 26;13:322-334.	Original Article
301	Yasuma T, D'Alessandro-Gabazza CN, Kobayashi T, et al.	免疫学	Microbial Burden-associated Cytokine Storm May Explain Nonresolving Acute	Am J Respir Crit Care Med. 2022 Nov 1;206(9):1182-1183.	Others
302	Yuda M, Kaneko I, Murata Y, et al.	医動物・感染医学	Targetome Analysis of Malaria Sporozoite Transcription Factor AP2-Sp Reveals Its	mBio. 2023 Feb 28;14(1):e0251622.	Original Article
303	Yasuma T, D'Alessandro-Gabazza CN, Fujimoto H, et al.	免疫学	Is Helicobacter pylori infection inversely correlated with atopic, skin, and	Allergy. 2022 Oct;77(10):3165-3166.	Others
304	Nishi T, Kaneko I, Iwanaga S, et al.	医動物・感染医学	PbAP2-FG2 and PbAP2R-2 function together as a transcriptional	PLoS Pathog. 2023 Feb 13;19(2):e1010890.	Original Article

305	Yasuma T, D'Alessandro-Gabazza CN, Fujimoto H, et al.	免疫学	Correlation of total serum HDL particles with a predictor of mortality risk in	Eur Respir J. 2022 Apr 14;59(4):2103175.	Others
306	Nishi T, Kaneko I, Iwanaga S, et al.	医動物・感染医学	Identification of a novel AP2 transcription factor in zygotes with an	PLoS Pathog. 2022 Aug 10;18(8):e1010510.	Original Article
307	Kitamura Y, Oikawa S, Chang J, et al.	環境分子医学	Carbonylated Proteins as Key Regulators in the Progression of	Antioxidants (Basel). 2023 Mar 31;12(4):844.	Original Article
308	Wakita S, Hara M, Kitabatake Y, et al.	修復再生病理学	Experimental method for haplotype phasing across the entire length of	J Hum Genet. 2022 Oct;67(10):565-572.	Original Article
309	Matsuura Y, Ohno Y, Toyoshima M, et al.	看護学	Effects of non-pharmacologic prevention on delirium in critically ill	Nurs Crit Care. 2022 May 27.	Review
310	Maruyama K, Yasuda K, Ito R, et al.	修復再生病理学	Histopathological findings of pericarditis in a patient with	Pathol Int. 2023 Feb;73(2):91-96.	Case Reports
311	Matsumoto H, Nio K, Kawamura T, et al.	看護学	Perceptions of diabetes management among adolescents with	Diabetol Int. 2022 Dec 7;14(2):155-164.	Original Article
312	Maruyama K, Miyagawa-Tomita S, Haneda Y, et al.	修復再生病理学	The cardiopharyngeal mesoderm contributes to lymphatic vessel	Elife. 2022 Oct 5;11:e81515.	Original Article

313	Yonekura H, Mazda Y, Noguchi S, et al.	分子病態学	Current Epidemiology of the General Anesthesia Practice for Cesarean	J Clin Med. 2022 Aug 17;11(16):4808.	Original Article
314	Kuurdor ED, Tanaka H, Kitajima T, et al.	公衆衛生・産業医学	Social Capital and Self-Rated Health: A Cross-Sectional Study among Rural	Int J Environ Res Public Health. 2022 Oct 27;19(21):14018.	Original Article
315	Ahmed S, Habu T, Kim J, et al.	環境分子医学	Suppression of RNF213, a susceptibility gene for moyamoya	Biochem Biophys Res Commun. 2022 Jun 18;609:62-68.	Original Article
316	Yonekura H, Mazda Y, Noguchi S, et al.	分子病態学	Trend in neuraxial morphine use and postoperative analgesia after	Sci Rep. 2022 Oct 14;12(1):17234.	Original Article
317	Kobayashi H, Mori Y, Iwasa R, et al.	環境分子医学	Copper-mediated DNA damage caused by purpurin, a natural anthraquinone	Genes Environ. 2022 May 9;44(1):15.	Original Article
318	Caidengbate S, Akama Y, Banerjee A, et al.	分子病態学	MicroRNA Profiles in Intestinal Epithelial Cells in a Mouse Model of Sepsis	Cells. 2023 Feb 24;12(5):726.	Original Article
319	Park EJ, Shimaoka M, Kiyono H.	分子病態学	Functional Flexibility of Exosomes and MicroRNAs of Intestinal Epithelial	Front Mol Biosci. 2022 May 11;9:854487.	Review
320	Tani K, Kanno R, Kikuchi R, et al.	個別化がん免疫治療学	Asymmetric structure of the native Rhodobacter sphaeroides dimeric	Nat Commun. 2022 Apr 7;13(1):1904.	Original Article
321	Tani K, Kanno R, Ji XC, et al.	個別化がん免疫治療学	Rhodobacter capsulatus forms a compact crescent-shaped LH1-RC	Nat Commun. 2023 Feb 15;14(1):846.	Original Article
322	Fridman D'Alessandro V, D'Alessandro-Gabazza CN	免疫学	Inhibition of a Microbiota-Derived Peptide Ameliorates Established Acute	Am J Pathol. 2023 Jun;193(6):740-754.	Original Article
323	Tani K, Kanno R, Kurosawa K, et al.	個別化がん免疫治療学	An LH1-RC photocomplex from an extremophilic phototroph provides	Commun Biol. 2022 Nov 7;5(1):1197.	Original Article
324	Tani K, Kobayashi K, Hosogi N, et al.	個別化がん免疫治療学	A Ca(2+)-binding motif underlies the unusual properties of certain	J Biol Chem. 2022 Jun;298(6):101967.	Original Article
325	Asaka Y, Mitani Y, Ohta H, et al.	看護学	Preterm toddlers have low nighttime sleep quality and high daytime activity	Sci Rep. 2022 Nov 21;12(1):20032.	Original Article

計325件

（注）1　当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2　報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）

3　「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。

4　「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。

5　「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名. 出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）; 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
（出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月（オンライン掲載月）の後に（オンライン）と明記すること）。
記載例：　Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9　/　Lancet. 2015 Dec（オンライン）

6　「論文種別」欄には、Original Article、Case report, Review, Letter, Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文（任意）

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計　件

（注）1　当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2　記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

（様式第 3）

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3　高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1)倫理審査委員会の開催状況

①　倫理審査委員会の設置状況	(有)・無
②　倫理審査委員会の手順書の整備状況	(有)・無
・　手順書の主な内容 目的、定義、設置者の責務、委員会等の役割・責務、委員会等の構成及び会議の成立要件等、迅速審査に関すること。	
③　倫理審査委員会の開催状況	年12回

（注）　1　倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に〇印を付けること。
2　前年度の実績を記載すること。

(2)利益相反を管理するための措置

①　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	(有)・無
②　利益相反の管理に関する規定の整備状況	(有)・無
・　規定の主な内容 目的、委員会の設置、申告、審査、指導等、情報開示、管理、利益相反相談室の設置、研究機関の長の責務に関すること。	
③　利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年12回

（注）前年度の実績を記載すること。

(3)臨床研究の倫理に関する講習等の実施

①　臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年2回
・研修の主な内容 ・「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に関すること（1回） ・「臨床研究法」に関すること（1回）	

（注）前年度の実績を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1　研修の内容

内科専門研修プログラム、小児科専門研修プログラム、皮膚科専門研修プログラム、精神科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム、整形外科専門研修プログラム、産婦人科専門研修プログラム、眼科専門研修プログラム、耳鼻咽喉科専門研修プログラム、泌尿器科専門研修プログラム、脳神経外科専門研修プログラム、放射線科専門研修プログラム、麻酔科専門研修プログラム、病理専門研修プログラム、臨床検査専門研修プログラム、救急科専門研修プログラム、リハビリテーション科専門研修プログラム、総合診療専門研修プログラム

（注）上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2　研修の実績

上記研修を受けた医師数	２７０ 人

（注）前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3　研修統括者

研修統括者氏名	診　療　科	役　職　等	臨床経験年数	特　記　事　項
山本　憲彦	総合診療科	教授	29年	
土肥　薫	循環器内科	教授	29年	
俵　功	血液内科	教授	29年	
中川　勇人	消化器・肝臓内科	教授	23年	
新堂　晃大	脳神経内科	教授	22年	H26.4.1-H28.3.31休職
小林　哲	呼吸器内科	教授	32年	
水野　聡朗	腫瘍内科	准教授	29年	
村田　智博	腎臓内科	講師	24年	
矢野　裕	糖尿病・内分泌内科	准教授	38年	
鈴木　圭	感染症内科	教授	21年	
水野　修吾	一般外科	教授	28年	
問山　裕二	消化管外科	教授	26年	
水野　修吾	肝胆膵・移植外科	教授	28年	
庄村　遊	心臓血管外科	准教授	31年	
髙尾　仁二	呼吸器外科	教授	39年	
池田　智明	乳腺外科	教授	40年	
小池　勇樹	小児外科	講師	20年	H27.4.1-H29.3.31休職
須藤　啓広	整形外科	教授	40年	
池田　智明	産科婦人科	教授	40年	
平山　雅浩	小児科	教授	37年	
岡田　元宏	精神科神経科	教授	32年	
山中　恵一	皮膚科	教授	30年	H15.5.16-H17.6.30休職
井上　貴博	腎泌尿器外科	教授	29年	
近藤　峰生	眼科	教授	32年	H11.1.25-H13.1.25休職
竹内　万彦	耳鼻咽喉・頭頸部外科	教授	38年	
鈴木　秀謙	脳神経外科	教授	33年	
成島　三長	形成外科	教授	22年	

佐久間　肇	放射線科	教授	38年	H5.11.1-H8.3.31休職
渡邉　昌俊	病理診断科	教授	34年	
奥川　喜永	ゲノム診療科	教授	20年	H25.4.1-H27.3.31休職 H27.8.1-H27.12.31休職
賀来　隆治	麻酔科	教授	27年	
賀来　隆治	緩和ケア科	教授	27年	
鈴木　圭	救急科	教授	21年	
新井　直也	歯科口腔外科	教授	34年	H15.4.1-H16.3.31休職
百崎　良	リハビリテーション科	教授	19年	

（注）1　医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

（注）2　内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（注）3　外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

（様式第 4）

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4　医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

1　　医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
1.クリティカルケア研修会 ・研修の主な内容 ・BLS① 研修期間・実施回数　　2022年4月28日（木）（1回60分）・1回 参加人数　看護師69名、放射線技師4名、臨床工学技師1名、管理栄養士5名、薬剤師7名 ・レベルⅠフィジカルイグザミネーション 研修期間・実施回数　　2022年5月9日（月）・10日（火）・12日（木）（1回120分）・6回 参加人数　68名 ・レベルⅠ救急時の対応 研修期間・実施回数　　2022年6月3日（金）・9日（木）（1回180分）・4回 参加人数　68名 ・技術トレーニング：BLS② 研修期間・実施回数　　2022年7月5日（火）・7日（木）・8日（金）（1回60分）・6回 参加人数　68名 ・Ⅰフィジカルアセスメント（入院患者編） 研修期間・実施回数　　2022年6月21日（火）・27日（月）・28日（火）（1回120分）・6回 参加人数　67名 ・チーム医療シナリオシミュレーション研修 研修期間・実施回数　　2022年10月21日（金）・28日（金）（1回130分）・4回 参加人数　看護師66名、放射線技師4名、薬剤師7名、臨床検査技士4名、臨床工学技師1名 管理栄養士4名、理学療法士1名 ・レベルⅡフィジカルアセスメント（術後患者編） 研修期間・実施回数　　2022年10月17日（月）・20日（木）・24日（月）（1回120分）・6回 参加人数　59名 ・レベルⅢフィジカルアセスメント（急変患者対応編） 研修期間・実施回数　　2022年11月14日（月）・15日（火）・17日（木）（1回120分）・6回 参加人数　78名 2.看護部クリニカルラダーレベルⅢ、Ⅳ、Ⅴ研修 ・研修の主な内容 　看護師の能力開発・評価のためクリニカルラダーのシステムがある。そのうち、レベルⅢはリーダーシップを発揮し看護実践ができるレベル、レベルⅣではロールモデルとなれるレベルをめざし、レベルⅤでは、より複雑な状況において患者にとって最適な手段を選択しQOL

向上を目指して育成している。レベルⅢでは、看護倫理、リーダーシップ（知識編）、キャリア開発、フィジカルアセスメント（急変対応編）、認知症患者の看護、安全管理、経営管理、災害管理について、レベルⅣでは、看護倫理、リーダーシップ（実践編）、看護理論、日常ケアから看護研究へ、安全管理、経営管理について研修を行った。レベルⅤでは、看護研究、看護倫理コーディネーター養成に関する研修を行った。

・研修の期間・実施回数

レベルⅢ　6月～1月　24回（1回60分～120分）
レベルⅣ　7月～3月　17回（1回45分～ 90分）
レベルⅤ　8月～2月　4回（1回30分～90分）

・研修の参加人数　延べ513名

レベルⅢ　416名、レベルⅣ　89名、レベルⅤ　8名
ラダー認定者数　レベルⅢ　21名、レベルⅣ　4名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

職員研修会：基本理念・基本方針、職員の行動規範、臨床研究、医療安全管理について
合同研修会：感染管理、医療情報、医療機器、医薬品の安全使用について

・研修の期間・実施回数

職員研修会：令和4年4月26日
合同研修会：令和4年4月28日

・研修の参加人数

職員研修会：2,036人（e-learning受講を含む）
合同研修会：2,036人（e-learning受講を含む）

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

（注）1　高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。
（注）2　「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

（様式第 5）

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	１．計画　②　現状
管理責任者氏名	病院長　池田　智明
管理担当者氏名	放射線部部長　佐久間　肇 薬剤部長　岩本　卓也 医療安全管理部長　兼児　敏浩 感染制御部長　田辺　正樹 臨床工学部長　竹内　万彦 医療情報管理部長　佐久間　肇 看護部長　福永　稚子 医学・病院管理部総務課長　粟生　泰幸 医学・病院管理部経営管理課長　丹羽　章 医学・病院管理部医事課長　寺前　利治 医学・病院管理部医療支援課長　柘植　智司

			保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二条の三第二項に掲げる事項	病院日誌	病歴室及びサーバー	診療に関する諸記録は全科電子カルテを導入。 （患者の署名のある同意書及び医師等が手書きした記録は、スキャンしている。） なお、診療録の病院外への持ち出しは、本院が定める取扱いにおいて禁止している。
		各科診療日誌	病歴室及びサーバー	
		処方せん	病歴室、薬剤部及びサーバー	
		手術記録	病歴室及びサーバー	
		看護記録	病歴室及びサーバー	
		検査所見記録	病歴室及びサーバー	
		エックス線写真	サーバー	
		紹介状	病歴室及びサーバー	
		退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	病歴室及びサーバー	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二条の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	従業者数を明らかにする帳簿は人事給与システムにて管理している。
		高度の医療の提供の実績	医事課	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
		高度の医療の研修の実績	総務課	
		閲覧実績	総務課	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課、薬剤部	
	規則第一条の十一第一項に掲げる事項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療支援課、医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課、医療支援課、医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課、医療安全管理部	
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療支援課、医療安全管理部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	総務課、感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課、感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課、感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課、感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課、薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	総務課、臨床工学部	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課、臨床工学部	
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部	

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課、医療安全管理部	
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課、感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務課	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務課	
		医療安全管理部門の設置状況	総務課、医療安全管理部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課、医療安全管理部、薬剤部	
		監査委員会の設置状況	監査チーム、総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	各診療科、医療安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療支援課、医療安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課、医療安全管理部、総合サポートセンター	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療支援課、医療安全管理部	
		職員研修の実施状況	総務課	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療支援課、医療安全管理部	
		管理者が有する権限に関する状況	総務課	
		管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
		開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	企画総務部総務チーム、総務課	

（注）「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

（様式第6）

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画　○2. 現状
閲覧責任者氏名	病院長　池田　智明
閲覧担当者氏名	医学・病院管理部総務課長　粟生　泰幸
閲覧の求めに応じる場所	医学・病院管理部総務課総務係
閲覧の手続の概要 ①規程に定められた閲覧申込書を、原則として閲覧を希望する2週間前までに病院長に提出する。 ②病院長は、前記の申込みを適当と認めるときは、閲覧承認書を交付する。 ③閲覧に際しては、閲覧担当者が立ち会った上で行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前　年　度　の　総　閲　覧　件　数		延　0　件
閲　覧　者　別	医師	延　0　件
	歯科医師	延　0　件
	国	延　0　件
	地方公共団体	延　0　件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第１条の 11 第１項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： ○安全管理に関する基本的な考え方 ○安全管理のための委員会、その他医療機関内の組織に関する基本的事項 ○安全管理のための職員研修に関する基本方針 ○医療機関内における事故報告書等の医療に係る安全確保のための改善策に関する基本方針 ○医療事故等発生の対応に関する基本方針 ○医療従事者と患者との間の情報共有に関する基本方針 ○患者からの相談への対応に関する指針 ○その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・ 設置の有無（ (有)・無 ） ・ 開催状況：年127回 ・ 活動の主な内容： ○医療安全管理委員会（年12 回） 医事法制に関する事項、医療事故の予防に関する事項、医療事故発生時の対策に関する事項、医療紛争の処理に関する事項、医療訴訟に関する事項、死亡事例及び重症合併症事例に関する事項並びに内部通報窓口（医療安全・倫理ポスト）への投書に関する事項を所掌する。 ○医療の質・倫理検討委員会（年 21 回） 移植医療、終末期医療及び治療拒否等における臨床倫理的問題に関すること、医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること、インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること並びに職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関することを所掌する。 ○医療安全会議（年 80 回） 医療安全に係る検討及び死亡事例・重症合併症事例の検討を行う。 ○リスクマネージャー会議（年 12 回） インシデントレポートの積極的な収集並びに医療安全管理委員会及び医療安全管理部において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。また、各医療現場において、医療事故の原因及び防止方法並びに医療体制の改善方法について、独自に検討及び提言し、独自に事故防止のための研修会及び勉強会を開き、医療事故防止のための啓発活動を行う。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年2回
・ 研修の内容（すべて）： ・病院長を講師として病院の基本理念や基本方針について、医療サービス担当副病院長を講師として職員の行動規範について、医療安全担当副病院長を講師として医療安全管理についての研修会を実施した。 ・外部講師による演題「コンプライアンスに関する研修」を実施した。	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	

・　医療機関内における事故報告等の整備　（ 有・無 ）
・　その他の改善のための方策の主な内容：
　ヒヤリハットニュースの発行（月１回及び必要に応じて随時）、緊急職員集会の開催、リスクマネージャー会議の開催により、インシデントレポートから積極的に収集した情報並びに医療安全管理委員会及び医療安全会議において決定した事故防止策・対応策等の必要な情報を医療現場に周知徹底する。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第１号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	(有)・無
・ 指針の主な内容： ・院内感染対策に関する基本的な考え方 ・委員会等の組織に関する基本的事項 ・職員研修に関する基本方針 ・発生状況の報告に関する基本方針 ・感染発生対応に関する基本方針 ・指針の閲覧に関する基本方針 ・その他の必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年12回
・活動の主な内容： ・微生物（耐性菌、CD、感染症法上届け出疾患）の検出状況報告 ・職員流行性ウイルス疾患等の発生状況報告 ・病棟ラウンド指摘事項報告 ・手指衛生状況報告 ・血液培養2セット率報告 ・AST活動状況報告 ・届け出抗菌薬使用状況報告 ・SSIサーベイランスに関する報告 ・洗浄・消毒・滅菌に関する内容 ・感染症関連の従業員保健に関する内容 ・指針・マニュアルの改訂に関する内容 ・地域連携、国公立大学病院感染対策協議会の情報共有 ・感染症等の最新情報の共有 ・病院従業者等へのワクチン接種に関する内容	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年3回
・ 研修の内容（すべて）： ・感染制御部助教を講師として、感染管理について研修会を実施した。 ・学内講師による「抗菌薬適正使用」、「手指衛生」についての研修会を実施した。 ・外部講師による演題「今冬のインフルエンザとCOVID-19混合流行に備えて」の研修会を実施した。	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
・ 病院における発生状況の報告等の整備　（(有)・無　） ・ その他の改善のための方策の主な内容： 院内にて迅速な対応が必要な感染症が院内の検査にて判明した場合，検査部より感染制御部に連絡が入ることとなっており，感染制御部が直ちに部署に出向き，感染対策を実施している。 入院時の持ち込み感染症については，病棟より感染制御部へ連絡が入ることとなっている。 従業者の感染症罹患については，感染制御部のホームページに専用の報告フォームがあり，フォームに入力することで感染制御部に報告されるシステムが確立されている。	

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第２号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医薬品安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年3回

・　研修の主な内容：
・全職員対象：医薬品安全管理担当者を講師とし、医薬品安全使用の研修会を実施した
・医療安全管理部薬剤師を講師として新入職員対象研修（医療安全）を実施した
・薬剤部職員を講師とし、研修医を対象に、麻薬の取扱いに関する研修会を実施した

③　医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況

・　手順書の作成　　（(有)・無　）
・　手順書の内訳に基づく業務の主な内容：
１．医薬品の採用
２．医薬品の購入
３．医薬品の管理
４．医薬品の請求と調剤・交付
５．未承認薬・適応外使用薬の適正使用手順
６．与薬・施用と薬剤管理指導
７．医薬品の安全使用にかかる情報の取扱い
８．重大な有害事象の予防・対応
９．医薬品等の臨床試験（治験）および製造販売後調査に係る取扱い
１０．研修医等による医薬品の取扱いの制限
１１．各部門における手順
１２．地域連携
１３．医薬品安全使用ための業務手順書について

④　医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・医薬品に係る情報の収集の整備　　（(有)・無　）
・未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）：
・Vision Blue（トリパンブルー；眼科手術用色素製剤）
・ILM Blue（ブリリアントブルーG；眼科手術用色素製剤）
・グルタルアルデヒド溶液（人工心膜の固定）
・リファンピシン溶液（人工血管の感染予防）
・エチレンジアミン四酢酸溶液（眼帯状角膜変性に対しキレートによるCa除去）
・血清点眼液（小児遷延性角膜上皮欠損の治療に対し非自己血からの作成）

・その他の改善のための方策の主な内容：
・電子カルテ端末から電子医薬品集、添付文書改訂情報、包装変更や供給状況など製薬企業からの情報を全職員が閲覧可能としている。
・医薬品の安全使用に関する院内報（DI-Weekly、薬剤部ニュース、くすりの適正使用情報）を発行し、職員メールによる配布のほか、職員用エレベーターホールへの掲示、病院ポータルサイトへ掲載している。
・病棟担当薬剤師、手術部担当薬剤師、医薬品情報室、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者、リスクマネージャーで週一回ミーティングを実施、医薬品に関する情報やインシデントを共有・伝達し対応策について検討を行っている。

・薬剤師が行った疑義照会のうち、重大（レベル0c相当）事例を、医療安全管理委員会、リスクマネージャー会議、科長会議へ報告し、注意喚起および改善策の検討を行っている。
・薬剤部で把握した適応外使用事例を、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会へ報告し、委員会で内容および必要な対応を検討している。
・厚生労働省 最適使用推進ガイドライン該当医薬品は届出制とし、担当医師が記入した届出書を薬剤部医薬品情報室で精査し、投与の妥当性を確認している。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第１条の 11 第２項第３号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

①　医療機器安全管理責任者の配置状況	(有)・無
②　従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年79回

・　研修の主な内容：
・医療機器安全管理責任者を講師として、全職員を対象に医療機器に関する安全使用について研修会を実施した。
・研修医や新人看護師、病棟移動看護師に対し、臨床工学技士を講師として医療機器の操作および安全使用について研修会を実施した。
・特に技術の習得が必要と考えられる医療機器については、実地研修（使用方法や有用性・安全性に関する事項、トラブル発生時の対応含む）を実施した。
・新規導入する医療機器に対して、メーカー担当者を講師とした研修会を開催。なお、研修会の実施においては、あらかじめ使用する職員の名簿を作成したうえで日程調整を行い、操作およびトラブル対応などについて実地研修を実施し、全員が受講できるよう複数回実施とした。

③　医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況

・　医療機器に係る計画の策定　　（(有)・無　）
・　機器ごとの保守点検の主な内容：
・臨床工学技士による定期点検とメーカー委託による定期点検を実施
・動作点検（機器の自己診断機能含）、アラーム作動点検、精度点検を実施。

④　医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況

・医療機器に係る情報の収集の整備　　（(有)・無　）
・未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：
・ロボット支援手術（ダヴィンチ手術）時のダブルバイポーラ法施行におけるValleylabTMFT10およびVI03の使用
・血管拡張ステントを用いた上腸間膜動脈閉塞の治療（E-LUMINEXXバード血管用ステント）
・経皮的動脈管以外への動脈管閉鎖デバイス留置（PDA閉鎖セット）

・その他の改善のための方策の主な内容：
・未承認医療機器や適応外使用の医療機器を用いた医療の提供を行う事例は、未承認新規医療機器等を用いた医療の提供の適否等にかかる担当部門（医療安全管理部・サーベイランスチーム）へ報告し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会において内容を審議する。
・中央部門（手術部、アンギオ室、内視鏡室）において、把握していない高難度新規医療技術が実施されていないかサーベイランスチームにより調査を行い、その結果を高難度新規医療技術評価委員会に報告する。
・PMDAから随時配信される情報やメーカー等から得た情報は、医療安全管理部を通して関係部署に周知し、必要があればリスクマネージャー会議にて報告するほか、電子カルテ端末からマニュアル等の閲覧システムにより情報を提供している。また、看護師が参加するME機器中央管理運営委員会（年6回）で情報の共有を図っている。

（注）前年度の実績を記入すること。

規則第９条の２０の２第１項第１号から第１３号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	(有)・無

・責任者の資格 (医師)・歯科医師）
・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況

医療安全管理責任者が、医療安全管理部長及び医療安全管理委員会委員長を担っており、これらを統括している。また、医療安全管理委員会には、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が構成員となっており、医療安全管理責任者が各責任者を統括している。

② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	(有)（3名）・無

③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況

・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況

医薬品に係る添付文書等やメーカー、インターネット、文献等から情報を収集し、整理した上で、薬剤部発行の院内医薬品情報誌やオンライン医薬品集、薬剤部ホームページへの掲載、必要に応じて院内メールや文書等による通知、病棟担当薬剤師によるカンファレンス等での説明、その他掲示等により周知を行っている。

・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況

調剤や病棟薬剤業務における疑義照会時に未承認薬や適応外薬のスクリーニングを行い、把握した事例について未承認新規医薬品・医療機器評価委員会で報告し、適宜、同委員会への審議申請を図っている。当該委員会に付議された申請のうち、医薬品に係る審議事項の事前調査と委員会での説明と審議を行っている。委員会で承認された適応外使用について、データベースを作成し薬剤部員で情報共有している。

・担当者の指名の有無 (有)・無）

・担当者の所属・職種：

（所属：薬剤部医薬品情報室，職種：薬剤師）

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有)・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無　（ (有)・無 ）

・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容

診療情報管理士が抽出したカルテを、各診療科の医師リスクマネージャーが評価を行い、その内容を医療安全管理部が確認する。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有)・無

・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：

診療録等の管理に関する責任者（副病院長 医療安全担当）を配置し、医師、看護師、診療情報管

理士において診療記録の質的監査チェックシートを基に実施する。
監査項目は、日々の診療記録の記載がされており且つ、診療計画の立案、適切なプロセスでインフォームド・コンセントが実施され同意書が得られているか、カンファレンスの開催内容が適切に記載されているか等をチェックする。
監査報告、指導については医療情報・診療記録管理委員会で今後の記載に当たっての注意事項、改善方法等について指導を行っている。また、診療科長、主治医、担当医、看護師にも質的監査チェックシートを送付し、報告している。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有)・無

・所属職員：専従（6）名、専任（1）名、兼任（3）名

うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（1）名

うち薬剤師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（1）名

うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（ ）名

（注）報告書を提出する年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること

・活動の主な内容：

(1) 医療の質・倫理検討委員会及び医療安全管理委員会に係る事務に関すること。
(2) 医療事故その他の医療安全管理部において取り扱うことが必要なものとして病院長が認める事象が発生した場合における診療録その他の診療に関する記録の確認、患者又はその家族への説明、原因の究明の実施その他の対応の状況の確認及び当該確認の結果に基づく職員への指導に関すること。
(3) インシデントレポートの収集・調査・防止対策及び防止対策の周知徹底に関すること。
(4) 医療事故防止・安全管理に係わる病院内の巡視・点検・評価に関すること。
(5) 医療事故防止・安全管理に係わる業務改善の提言・指導に関すること。
(6) 医療安全に係わる教育・研修・啓発に関すること。
(7) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。
(8) 医療安全会議及びリスクマネージャー会議に関すること。
(9) 内部通報窓口（医療安全ポスト）に関すること。
(10) 医療安全の確保に資する診療内容のモニタリングに関すること。
(11) 職員の医療安全の認識についてのモニタリングに関すること。
※(10)(11)について、インシデントレポートの内容確認、病院内の巡視、入院診療録の質・量の監査等により実施している。
(12) インフォームド・コンセントの適正な実施についてのモニタリングに関すること。
(13) 高難度新規医療技術を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。
(14) 未承認新規医薬品を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認
等に関すること。
(15) 未承認新規医療機器を用いた医療の提供の適否等の決定に係る業務及び規程の遵守状況の確認等に関すること。
(16) 死亡事例及び重症合併症事例に関すること。
(17) その他医療の安全管理に関すること。

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療

に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。
※　医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦　高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（8 件）、及び許可件数（8 件）

・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）

・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）

・活動の主な内容：

(1)診療科からの申出内容を確認し、高難度新規医療技術評価委員会に対して意見を求める。
(2)高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、当該医療技術の提供の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。
(3)当該医療技術について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（ 有・無 ）

⑧　未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（142 件）、及び許可件数（135 件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）

・活動の主な内容：

(1) 診療科からの申出内容を確認し、未承認新規医薬品・医療機器評価委員会に対して意見を求める。

(2)未承認新規医薬品・医療機器評価委員会からの意見を踏まえ、当該未承認新規医薬品等の使用の適否等について決定し、その結果を病院長に報告を行った上、診療科の長に通知する。

(3)当該未承認新規医薬品等について定期的及び必要な場合に、手術記録、診療録等の記載内容、診療科からの報告により規程の遵守状況を確認する。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（ 有・無 ）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 （ 有・無 ）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 394 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 215 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

・医療安全管理部への報告の実施状況を確認させ、確認結果を病院長へ報告させること。
・医療安全管理部への報告の実施状況が不十分な場合には、適切な報告のための職員等への研修及び指導を行わせること。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り（ 有（病院名：宮崎大学 ）・無）

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（ 有（病院名：福島県立医科大学 ）・無）

・技術的助言の実施状況

相互立入以前は、モニタリングを手術後 6 ヶ月・12 ヶ月に実施し、有害事象がなければモニタリングを終了していたが、助言を受け以下のように変更した。

そのことにより、医療安全管理部での長期的なモニタリングが確実に実施することができるようになった。

①デバイス等を体内へ挿入する症例は、6 ヶ月後、12 ヶ月後に加え、21 ヶ月後のモニタリングを追加した。

②有害事象が発現した症例は、6 ヶ月後、12 ヶ月後以外でのモニタリングについて高難度新規医療技術評価委員会にて協議し、追加実施している。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

患者からの相談に応じる部門として、総合サポートセンターを設置している。内容が医療安全に係る疑いがある場合は、情報を医療安全管理部に提供する。

⑫　職員研修の実施状況
・研修の実施状況 　合同研修会（感染制御部、医療情報管理部、臨床工学部、薬剤部がそれぞれ講師を担当）、保険診療に関する研修会、褥瘡に係る研修会、診療用放射線の安全利用の研修会を実施した。

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬　管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況
・研修の実施状況 　管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者が、日本医療機能評価機構が主催する「2022 年度特定機能病院管理者研修」を受講した。

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況
・第三者による評価の受審状況 令和２年２月　日本医療機能評価機構による病院機能評価「一般病院 3(3rdG:Ver.2.0)」を受審 令和２年９月　条件付認定 令和４年３月　確認審査 令和４年７月　認定留保 令和４年 12 月　再審査 令和５年３月　認定（認定期間 2020 年７月 25 日～2025 年７月 24 日） 令和５年９月　改善審査受審中 ・評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況 　本院 HP にて専用ページを設けて公表している。 ・評価を踏まえ講じた措置 　手術部位感染サーベイランスの実施に関して、対象拡大に努め、術後感染の低減に向けた感染予防策を継続的に実施している。

（注）記載時点の状況を記載すること

規則第７条の２の２第１項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

１．医療法（昭和２３年法律第２０５号）第１０条の規定に則った者であること。

２．医療の安全の確保のために必要な資質・能力として、医療安全管理業務の経験、患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を有すること。

３．当院を管理運営する上で必要な資質・能力として、当院の基本理念・基本方針（下記参照）を理解し、その実現に向けた強い意志と統率力（リーダーシップ）、改革精神、コンプライアンス意識、当院又は当院以外の病院での組織管理経験を有し、医学部附属病院の安定的な経営基盤の確立と効率的な組織編成を実現できる総合的能力を有する者であること。

４．医学部附属病院の現状を正確に分析するとともに，中長期的な目標に向かって将来ビジョンを具体的かつ明確に示し，医学部附属病院の課題について，学長と連携して取り組むことができる者であること。

５．三重県の拠点病院として地域医療に貢献するために必要な資質・能力として、三重県や三重県医師会、関係病院、その他関係機関と連携協力していく指導力及び調整力を有すること。

【三重大学医学部附属病院の基本理念・基本方針】

◆基本理念

本院は、信頼と安心が得られる地域医療の拠点として、未来を拓く診療・研究を推進し、人間性豊かな優れた医療人を育成します。

◆基本方針

✓ 地域の拠点病院として、安全で質の高い先進的な医療を提供します。

✓ 臨床研修機関として、次代の担い手となる人間性豊かな人材を育成します。

✓ 新しい医療を目指す臨床研究を推進し、社会に貢献します。

✓ 医療・医育機関との連携・支援を推進し、地域医療の発展に尽くします。

✓ 疾病の予防を目指した教育・研究を推進します。

✓ 上記の基本方針を推進するために、健全で成長性のある病院経営を行います。

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）

・ 公表の方法

大学ホームページに掲載しているほか、公募の案内文書を郵送する際に同封している。

規則第７条の３第１項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・(無)

・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（　有・無　）
・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（　有・無　）
・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（　有・無　）
・ 公表の方法

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長（〇を付す）	選定理由	特別の関係
西岡　慶子	国立大学法人三重大学		規程第3条第1項第1号に基づき学長が指名する理事 地域共創担当の理事として、大学の将来構想について豊富な知見を有しているため	(有)・無
堀　浩樹	同上		規程第 3 条第 1 項第 2 号に基づき役職指定	(有)・無
池田　智明	同上		規程第 3 条第 1 項第 3 号に基づき役職指定	(有)・無
今中　恭子	同上		規程第3条第1項第4号に基づき医学系研究科から推薦された大学教員 基礎医学系大学教員として、医学・医療に関する教育・研究について豊富な経験を有しているため	(有)・無
兼児　敏浩	同上		規程第3条第1項第5号に基づき医学部附属病院から推薦された職員 医療安全担当の副病院長として、病院管理の上で特に重要な医療安全について豊富な知見を有しているため	(有)・無
福永　稚子	同上		規程第 3 条第 1 項第 6 号に基づき役職指定	(有)・無
木下　孝洋	同上		規程第 3 条第 1 項第 7 号に基づき役職指定	(有)・無
伊藤　敦士	同上		規程第 3 条第 1 項第 8 号に基づき役職指定	(有)・無
横手　幸太郎	国立大学法人千葉大学		規程第3条第1項第9号に基づき学長が委嘱する学外有識者 特定機能病院の病院長として、医学・医療や病院の管理について豊富な知見を有しているため	有・(無)
辻　保彦	辻製油株式会社	〇	規程第3条第1項第9号に基づき学長が委嘱する学外有識者 地元企業の経営者として、法人経営や地域の経済・社会について豊富な知見を有しているため	有・(無)

規則第９条の２３第１項及び第２項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有・無

・合議体の主要な審議内容
(1)　人事に関する事項
(2)　診療に関する事項
(3)　予算の配分方針に関する事項
(4)　組織の設置廃止の方針に関する事項
(5)　病院諸規程の制定改廃に関する事項
(6)　その他病院長が必要と認める事項

・審議の概要の従業者への周知状況
・毎月第4水曜に開催する科長会議での周知。
・院内メールや紙資料配付による周知。
・特に周知徹底が必要な事項については、別途緊急集会を開催。

・合議体に係る内部規程の公表の有無（　有・無　）
・公表の方法
・外部有識者からの意見聴取の有無（　有・無　）

合議体の委員名簿

氏名	委員長（〇を付す）	職種	役職
池田　智明	〇	医師	病院長
佐久間　肇		医師	副病院長（診療担当） 放射線医学　教授
平山　雅浩		医師	副病院長（経営担当） 小児科学　教授
水野　修吾		医師	副病院長（教育・地域連携担当） 肝胆膵・移植外科学　教授
鈴木　秀謙		医師	副病院長（研究・倫理担当） 脳神経外科学　教授
福永　稚子		看護師	副病院長（医療サービス担当）
兼児　敏浩		医師	副病院長（医療安全担当） 安全管理部　教授
土肥　薫		医師	副病院長（総務・働き方改革担当） 循環器・腎臓内科学　教授
渡邉　昌俊		医師	副病院長（医学部連携担当） 病理部長
岡田　元宏		医師	精神神経科学　教授
近藤　峰生		医師	眼科学　教授

高尾　仁二		医師	胸部心臓血管外科学　教授
山本　憲彦		医師	総合診療科　教授
竹内　万彦		医師	耳鼻咽喉・頭頸部外科学　教授
須藤　啓広		医師	運動器外科学・腫瘍集学治療学　教授
新井　直也		歯科医師	口腔・顎顔面外科学　教授
成島　三長		医師	形成外科　教授
中島　亜矢子		医師	リウマチ膠原病内科学　教授
山中　恵一		医師	皮膚科学　教授
井上　貴博		医師	腎泌尿器外科学　教授
百崎　良		医師	リハビリテーション医学　教授
俵　功		医師	血液・腫瘍内科学　教授
小林　哲		医師	呼吸器内科学、代謝内分泌内科学　教授
中川　勇人		医師	消化器内科学　教授
奥川　喜永		医師	ゲノム医療部　教授
問山　裕二		医師	消化管・小児外科学　教授
賀来　隆治		医師	麻酔科学分野　教授
新堂　晃大		医師	神経病態内科学　教授
鈴木　圭		医師	救命救急・総合集中治療センター　教授
田辺　正樹		医師	検査部　教授
田丸　智巳		医師	臨床研究開発センター　教授
岡本　隆二		医師	臨床研修・キャリア支援部　教授
岩本　卓也		薬剤師	薬剤部　教授
江藤　由美		看護師	病院長特命補佐（看護学科連携担当）
伊藤　敦士		事務職員	医学・病院管理部長

規則第１５条の４第１項第１号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

・　管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（　有・(無)　）
・　公表の方法

・　規程の主な内容

「病院長は，附属病院の管理，運営をつかさどり所属職員を統括する。」旨を規定し、また、副病院長や病院長補佐等の病院長を補佐する役職の設置についても規定している。

・　管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割

＜副病院長＞
附属病院の管理運営を円滑に進めるため、病院長の職務を補佐する。
（担当：診療、経営、教育・地域連携、研究・倫理、医療サービス、医療安全、総務・働き方改革、医学部連携）

＜病院長顧問＞
病院長の要請に基づき附属病院の事業に関し助言及び指導を行う。

＜病院長特命補佐＞
附属病院の運営を円滑に進めるため、特別の命を受け、病院長の職務を補佐する。
（担当：メディカルスタッフ、看護学科連携、特務、災害対策推進、医療・働き方改革）

＜病院長補佐＞
病院長の職務を補佐する。

・　病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況

病院長以下執行部のほかに各診療科に科長、副科長を置き、科長のもとに統括医長、外来医長、病棟医長、教育医長及び研究医長を置き、それぞれに責任を持たせ担当業務を遂行させている。

日本医療機能評価機構が主催する「2022年度特定機能病院管理者研修」を管理者（病院長）、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者が受講している。

規則第１５条の４第１項第２号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	(有)・無

・監査委員会の開催状況：年２回

・活動の主な内容：

医学部附属病院における医療に係る安全管理の状況を監査し、学長または病院長に対して提言を行う。

・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（ (有)・無 ）

・委員名簿の公表の有無（ (有)・無 ）

・委員の選定理由の公表の有無（ (有)・無 ）

・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（ (有)・無 ）

・公表の方法：本学ホームページに掲載。

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件該当状況
大野　敏幸	津市役所　内部統制担当理事		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
片山　眞洋	片山総合法律事務所　弁護士		医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1
小池　敦	三重県立看護大学看護学部　教授		医療を受ける者その他の医療従事者以外の者	有・(無)	2
鈴木　明	浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室 特任准教授	○	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者	有・(無)	1

（注）　「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第１５条の４第１項第３号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

・体制の整備状況及び活動内容

三重大学においては、主として監事並びに内部監査部門（監査チーム）が管理者の業務執行状況を確認している。

「国立大学法人三重大学監事監査規程」第9条では監事の確認対象として、「学長、理事及び職員の職務執行が法令等に違反しないための法令等遵守体制」と明記している。また、同規程第17条では、「監事は、重要な意思決定の過程及び業務の執行状況を把握するため、役員会のほか、経営協議会、教育研究評議会、その他の重要な会議又は委員会に出席することができ、必要あると認めたときは、意見を述べることができる」となっている。これに基づき、監事は、下記（※）の大学本部の重要会議に出席し、管理者からの病院事業報告の状況を確認しており、監査チームも原則同席している。

（※役員会、経営協議会、教育研究評議会、全学マネジメント委員会、教育会議、危機管理委員会）

また、主として下表の病院関連各種重要会議に出席して法令等の遵守状況、管理者の開設者への事業報告状況、病院の経営状況を確認している。加えて、監事が会議等で必要に応じて事務担当者に資料を求め内容を確認している。

更に、学長・理事が病院マネジメント会議に出席し、大学本部と病院との連携強化に取り組んでいることも確認している。

≪令和４年10月～令和５年９月の病院関連各種会議への出席状況≫

会議名	主たる議題	出席回数（監事）	出席者
病院マネジメント会議	業績、医療安全、当局指摘対応、労務管理（医師の働き方改革等）ほか	25 回	監事、監査チーム
医療安全管理委員会	医療事故報告、継続フォロー案件報告ほか	11 回	監事
メディカルマネジメント委員会	診療体制、診療稼働及び経営改善ほか	11 回	監事、監査チーム
新型コロナウイルス感染対策本部会議	新型コロナウイルスに関する対応状況ほか（※）	7 回	監事
病院監査委員会	外部委員会：医療安全体制に関するアドバイス（医療法施行規則第 15 条の４第１項第２号）	1 回	監事、監査チーム
病院監督管理委員会	外部委員会：予算執行及び管理運営の状況等（医療法施行規則第 15 条の４第１項第３号ロ）	1 回	監事、監査チーム

（※）本会議は感染症法５類移行後は開催されていないが、蔓延の状況によって適宜メディカルマネジメント委員会で周知していることを確認している。

これら活動の状況は、月締めで監事が作成し、監査チームから開設者及び管理者等に監事病院関連活動報告書として提出している。

法令遵守に関する体制としては、「国立大学法人三重大学におけるコンプライアンスの推進に関する規程」によりコンプライアンス体制を整備しており、学長が附属病院を含む全学のコンプライアンスに関する管理責任者として最終責任を負い、本学のコンプライアンスの推進を図り、公正・公平かつ誠実な業務の遂行を確保するため、コンプライアンス委員会を設置している。コンプライアンス教育の啓発活動として令和４年度においても令和３年度に引き続き学内において部局別に顧問弁護士によるコンプライアンス研修会が実施され、附属病院においては保険診療等に関するコン

プライアンス研修会が実施されたことを確認した。更には、令和５年度においても部局別に顧問弁護士によるコンプライアンス研修会を開催予定であることを確認した。
　また、内部監査部門や病院担当者に人事異動があった際にも、開設者による監督体制の必要性について再周知し、体制が形骸化しないよう努めている。

- **専門部署の設置の有無（ ㊒・無 ）**
- **内部規程の整備の有無（ ㊒・無 ）**
- **内部規程の公表の有無（ ㊒・無 ）**
- **公表の方法**
（三重大学規則集HP） https://www.mie-u.ac.jp/koukai/kisoku/aggregate/catalog/index.htm

規則第１５条の４第１項第３号ロに掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

大学の理事会（本学においては役員会）とは別の会議体として、平成３０年７月に「三重大学医学部附属病院監督管理委員会」を設置し、第2回を令和2年9月、第3回を令和4年3月23日、第4回を令和5年3月23日に開催した。

委員は５名でうち３名が外部委員（本学と利害関係のない者）となっており、点検・監督の結果は報告書にまとめ、役員会にて報告している。

・ 会議体の実施状況（　年1回　）

・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ 有・無 ）（　年1回　）

・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ 有・無 ）

・ 公表の方法

本学ホームページに掲載

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：三重大学医学部附属病院監督管理委員会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長（○を付す）	利害関係
西岡　慶子	国立大学法人　三重大学		有・無
木下　孝洋	国立大学法人　三重大学		有・無
髙木　純一	鈴鹿医療科学大学	○	有・無
大友　克之	朝日大学		有・無
辻　保彦	辻製油株式会社		有・無

（注）　会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第１５条の４第１項第４号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（ 有・無 ） ・通報件数（年 11 件） ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（ 有・無 ） ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（ 有・無 ） ・周知の方法 医療安全会議、リスクマネージャー会議、ヒヤリハットニュース等において、全職員に周知を図り、また、そのことが周知されたか否かについて、リスクマネージャーに再度確認を行っている。

（様式第 7）

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1　果たしている役割に関する情報発信

①　果たしている役割に関する情報発信の有無	(有)・無
・情報発信の方法、内容等の概要 病院ホームページでの情報発信のほか、医学系研究科・附属病院概要など各種広報誌の発行や公開講座の実施など、広く情報発信を行っている。	

2　複数の診療科が連携して対応に当たる体制

①　複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	(有)・無
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 がんセンター等で診療科間及び職種の枠を越えた連携によるチーム医療、集学的治療を推進している。また、本院において個々に展開されているチーム医療の機能を高め、チーム間の連携を強化することによって、診療のサポートをより効果的・効率的に行い、医療の質の向上に繋げることを目的としたチーム医療推進センターを設置しており、チーム医療の機能及び連携の強化を行っている。	